Route Press ルートプレス 21st.

道21世紀新聞
発行所：特定非営利活動法人 人と道研究会
東京都千代田区三番町7-1　朝日三番町プラザ
Web　http://www.route-press21st.jp

重点「道の駅」制度発進

交流会で道の駅の前途を祝して気勢を挙げる首長や駅長ら関係者。乾杯の音頭は地ビールをアピールした「川場田園プラザ」設置者の関清川場村村長

高度成長の一時期、「地方の時代」と言われた時代があった。今は地方の活力が衰え、国は「地方創生」を旗印に地方のてこ入れを始めた。この流れを受け創設されたのが「重点『道の駅』制度だ。道の駅を拠点に地域が活力を取り戻し、雇用を創出して、社会的、経済的な好循環につなげることを目指す。

「道の駅」はドライバーが立ち寄るトイレ・休憩施設として誕生。情報提供機能、地域連携機能を持つ休憩施設として整備され、今では「道の駅」自体が目的地となり、まちの特産物や観光資源を活かしてひとを呼び、地域にしごとを生み出す核へ進化した。

「重点『道の駅』」制度は、「道の駅」を地方創生の拠点となる先駆的な取り組みをモデル箇所に選び、関係機関が連携して計画段階から総合的に支援する。「道の駅」を、地域外から活力を呼ぶ「ゲートウェイ型」と、地域の元気を創る「地域センター型」の二つに分類して選考した。

「全国モデル駅」は、地域活性化の拠点として特に優れた機能を継続的に発揮している駅。「重点『道の駅』」は、優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取り組みが期待できる駅で、ともに国土交通大臣が選定。地域活性化の拠点となる意欲的な取り組みが期待できる駅を「重点『道の駅』候補」として地方整備局長らが選定した。

道の駅は「地域の振興に寄与」「地域とともにつくる個性豊かなにぎわいの場」が基本コンセプトで、まさに「地方創生」の拠点にふさわしい。

選定証の授与式は2月、東京で行われ道の駅設置者の自治体首長が勢ぞろい、太田昭宏国土交通大臣が選定証、表彰盾を手交し「国も応援していくので、道の駅が刺激し合い地域活性化の核になってほしい」と激励した。

国土交通省はこのほど「重点『道の駅』制度」を創設し、全国の「道の駅」の模範となる「全国モデル『道の駅』」6カ所、将来性が期待される「重点『道の駅』」35カ所、「重点『道の駅』候補」49カ所を選定した。道の駅は登録制度発足から20年余で全国1040駅（平成26年10月現在）に増えて「第2ステージ」に入り、より質の高いサービスや雇用創出など地域に貢献する公的施設として「地方創生」拠点への発展が期待される。同省は他省庁はじめ関係機関と連携し、優れた道の駅を経済の好循環を地方に波及させる成長戦略の拠点として、重点的に支援する方針だ。

▶2〜5面に関連記事

第43号　INDEX

特集　重点「道の駅」制度創設	**1〜5面**
列島保全への課題	6面
日本風景街道「徳島県神山町」	8〜9面
緑化の原点から考える	10〜11面
ふるさと納税と民主主義	12〜13面
読者の声／パズル／プレゼント	14〜15面

道の駅新聞「ルートプレス」は全国の「道の駅」で配布しております。

みちのえき 駅長セレクション

おおとう桜街道

梅林英三支配人

日本最大級の道の駅。新鮮な海産物、農産物が毎日届く直売所、8店が味を競う食事処が入る物産館内の優美な1億円トイレが評判です。天然温泉施設には、露天風呂・珍しい「薬石浴」など7種類。子供広場では電動遊具などで家族が1日楽しめ、隣接の桜街道もオススメです。

福岡県大任町今任原1339
主要地方道八女香春線　TEL.0947-63-4430

第九の里

梶久美子副館長

第一次大戦時の「板東俘虜収容所」ドイツ兵と地元民との交流を後世に伝える「ドイツ村公園」内にあり、アジアで初めてベートーヴェンの交響曲第九が演奏された地です。物産館は俘虜兵舎を移築した登録有形文化財。なると金時、鳴門わかめ等特産品を多数販売しています。

徳島県鳴門市大麻町檜字東山田53
県道41号　TEL.088-689-1119

スペース・アップルよいち

嶋保駅長

日本人初の宇宙飛行士毛利衛さんの誕生地。宇宙記念館に隣接し、ショップには宇宙食や宇宙グッズ、町特産のりんごや葡萄などの果物、甘エビなどの海産物、洋酒類が豊富です。近くのニッカウヰスキー余市蒸留所では、日本のウイスキーの父竹鶴政孝と妻リタの私邸も見学可。

北海道余市町黒川町6-4
国道229号　TEL.0135-22-1515

都内で選定証授与式

太田国交相・駅長・市長ら500人出席

選定証の授与式は2月26日、東京で開催され、選定に当たった有識者懇談会のメンバー、選定された道の駅設置者の市町村長や駅長、太田昭宏国交相はじめ国関係者ら約500人が出席した。

太田大臣は挨拶で、地方創生の実を上げるため、重点道の駅」制度を活用して国も積極的に支援していくと表明。「私はいつも右手に観光、左手に道の駅と言っている。これまでの枠にとらわれない独自の創意工夫で地域の課題解決のリーダーになってほしい」と道の駅への期待を述べた。

全国モデル「道の駅」を皮切りに設置者の首長に選定証と表彰盾を太田大臣が授与。モデル6駅には道の駅マークをデザインした特性のタペストリーも贈られた。選ばれた駅は首長が地元特産の自慢の一品を持って登壇、ユーモアを交えたひと口PR。ご当地のゆるキャラマスコットを引き連れた首長や法被姿などコスチュームでアピールする首長もいて式を和ませた。

「遠野風の丘」など全国モデル道の駅には選定証や盾のほか特製のタペストリーも贈呈（披露する本田敏秋遠野市長＝右）

モデル駅に選ばれた「もてぎ」（栃木県茂木町）の古口達也町長が代表してお礼の挨拶をし「選ばれたのは全国の道の駅ファンのおかげ。さらに創意工夫を重ね頑張りたい」と決意表明。

交流会に移って「遠野風の丘」の本田敏秋市長が開会挨拶し「地域の個性の中から光り輝くものを発信し、道の駅が手をつなぎ連携していく中で地方の底力を示そう」と気勢を挙げた。

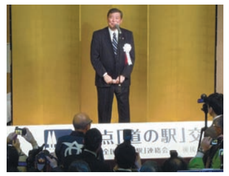
選考に当たった有識者懇談会委員長の石田東生筑波大学大学院教授は「企画提案にはどこも工夫と努力に愛情と夢と希望が溢れていた。それが地域の共感を得たと思う。自信とヤル気と希望があれば、地方創生が実現する」と感想を語った。

石破茂地方創生担当大臣も駆けつけ「地域が自由に創意工夫を生かすのが地方創生だ。道の駅が地方創生を引っ張ってくれるよう願っています」と期待を込め挨拶した。

会場には選ばれた駅ごとにPRコーナーが設置され、「道の駅」の取り組みを紹介するパネルや特色ある地場産品の写真とともに、独自に開発した特産品などを展示し、参加者は各地の自慢の味の試食や試飲を楽しんだ。太田大臣や石破大臣も各展示コーナーを回って、首長や駅長を激励。出席者は交流を深めながら、参考にしようと意欲的に展示に見入っていた。

選定された駅は自慢の特産品を太田国交相にひと口PR

交流会場には各地の自慢の特産品が並び試食や試飲も


石破茂地方創生担当大臣も駆けつけ道の駅への期待を表明

ご当地ゆるキャラのマスコットを繰り出す市町村まで

地域と一体感のある経営

もてぎ　厳しい商品の品質管理

栃木県の道の駅「もてぎ」には多くの視察者が訪れる。バックヤードが素晴らしく廃校跡の校庭に「手づくり工房」という特産品加工所を新設、校舎などを利用して農産物加工品の開発・製造に取り組み、物販コーナーをデパートさながらにリフォーム。防災館を新設し平時は無料休憩スペースに利用するなど工夫を凝らして実践する。

商品・サービスは、ゆず製品や地元産イチゴ、ブルーベリーなど多様な農産物加工品に加え、健康食品えごまオイルの加工品も開発。町長が「私が元気なのはこれのおかげ」と自身もセールスする。茂木産完熟イチゴとミルクアイスを手ごねにしたソフトクリーム「おとめみるくミルク」も人気。

主要事業の農産物販売では、POSレジの売り上げ情報を自動処理してリアルタイムで生産者にメール転送し、生産者による在庫管理に協力。全農産物の栽培履歴書提出を義務付け、専門職が農薬などの適合確認をして出荷許可する厳しい品質管理。70%が地元産品で、残る30%も県内産品が占めるという。

県内共通事業として県内道の駅の社員の合同接遇研修会を開催したり、旅行の補助など、地域創生のあらゆる取り組みを実践し、近隣道の駅の立ち上げにもアドバイス。

成功の背景には①町長と役場担当者（駐在2名）、駅支配人の3者が一体となり、意欲的に駅の運営・改善に取り組む②道の駅が店としての収益でなく町全体の利益を目指していることがある。生産者や利用者ら多くの関係者の共感を得て、地域と一体感ある経営が行われている。

コスチュームで人目をひくグループも

自慢の特産品を持ち寄り太田国交相や参加者にひと口PR市長は特産ヨーグルトをPR）

会場で拾った首長や駅長の声を紹介する。

▽**秋田県「象潟」設置者・横山忠長にかほ市長**　鳥海山や名勝九十九島など豊かな観光資源に恵まれ外国人観光客も増えています。重点道の駅選定を機に、周辺の六つの道の駅とも連携して広域周遊観光圏として活動し、岩がきなど特産品や見どころを紹介する観光情報ワンストップサービスも新施設で始めています。

▽**長野県「あおき」設置者・北村政夫青木村長**　豊かな自然に誘われ東南アジアからのホームステイが増えて評判になっています。新開発のタチアカネそば、芽を出した直後で健康にもいいにんにく加工品づくりが進み出した。道の駅が地方創生の核に育っています。

▽**高知県「かわうその里すさき」設置者・楠瀬耕作須崎市長**　南海トラフ巨大地震の危機対策で津波避難タワーなど防災拠点化を第一にします。ニホンカワウソの生息が最後に確認された近くの清流ではアユが絶品です。

▽**山口県「蒲街道西ノ市」の下口田鶴子駅長**　蛍の乱舞を川船に乗って鑑賞するツアーは他にないと、九州からも沢山のお客様がいらっしゃいます。4月の梨の花を楽しむツアーも人気で外国人観光客の参加も増えました。

モデル「道の駅」ゲートウェイ型（観光総合）

川場田園プラザ　**もてぎ**　**とみうら**

モデル「道の駅」地域センター型（産業振興）

萩しーまーと

モデル「道の駅」地域センター型（防災）

遠野風の丘

モデル「道の駅」地域センター型（産業振興）

内子フレッシュパークからり

重点「道の駅」制度スタート

「モデル」に6カ所

国交省　重点「道の駅」35カ所指定

重点「道の駅」は、人気の公的施設として道路利用者や地域の暮らしに不可欠な存在になった道の駅の機能をさらに強化し、先駆的な取り組みを進める優れた駅を選定、関係機関が連携して計画段階から総合的に支援する制度。「まち」の特産物や観光資源を活かして「ひと」を呼び、地域に「しごと」を生み出す核となり、地域の課題解決の場として「地方創生」の拠点を形成することが期待される。2月26日に東京で開かれた選定証の授与式には、道の駅設置者の自治体首長が一同に会し、道の駅のさらなる充実と進化を誓い合った。

川場田園プラザの近くには D51-561 の機関車が…

もてぎではキャンドルイベントも

花つみも楽しめるとみうら

選定は各地方整備局等から場田園プラザ」（群馬県川場村）／「もてぎ」（栃木県茂木町）／「とみうら」（千葉県南房総市）の3カ所。

地域センター型は、産業振興への貢献が評価された「萩しーまーと」（山口県萩市）／「内子フレッシュパークからり」（愛媛県内子町）の2カ所。また、防災で実績のある「遠野風の丘」（岩手県遠野市）が選ばれた。

Ⅱ4面に詳報

「重点『道の駅』」に選定されたのは、ゲートウェイ型として、インバウンド観光で「ニセコビュープラザ」（北海道ニセコ町）など6カ所。観光総合で「象潟」（秋田県にかほ市）など12カ所。移住で「クロスロードみつぎ」など2カ所。

地域センター型は、産業振興で「ゆうひパーク浜田」（島根県浜田市）など6カ所。地域福祉では「ゆすはら」（高知県梼原町）など5カ所。防災では「あらい」（新潟県十日町市）など4カ所となった。

いずれも地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取り組みが見込まれる点を評価した。**Ⅱ5面に一覧表**

今後整備を進め新規開設する12駅と、伊豆地域の道の駅8駅をネットワーク化する「伊豆道の駅ネットワーク」／愛媛県今治市の5駅をルートとして結ぶ「しまなみ海道周辺『道の駅』」の2エリアも選ばれている。

日立おさかなセンター

寺門達也直販店組合事務局長

地元で水揚げされる海産物の直販施設として20年間ご愛顧頂いて来ましたが、2014年の道の駅認定（県内海沿いで初めて）を機にリニューアル。海鮮丼や刺身、浜焼き、加工品をその場で食べられる機能に加え、地元の朝採り野菜や物産品に触れ合えるよう生まれ変わりました。

茨城県日立市みなと町 5779-24
国道245号　TEL.0294-54-0833

越後川口

小宮山芳治駅長

当駅の魅力は、なんと言っても直売所が充実していることです。信濃川と魚野川の織りなす河岸段丘の川霧に育った魚沼コシヒカリや、スイカ、メロンは一味違います。当駅独占販売のつきたて餅や山菜風味の天然酵母パンは特に人気大です。毎日が楽しい道の駅を目指しています。

新潟県長岡市川口中山 84-2
国道17号　TEL.0258-89-4550

紀宝町ウミガメ公園

石本慶紀駅長

全国で唯一ウミガメと触れ合える道の駅。温暖多雨な気象により、美味しいみかん生産が年中可能です。館内はウミガメプール、ウミガメグッツが揃う資料館、物産館、地元食材中心のレストランなど5エリア。高速道延長や世界遺産熊野古道10周年などでお客様が増えています。

三重県南牟婁郡紀宝町井田７６８－７
国道42号　TEL.0735-33-0300

根来さくらの里

中川隆弘店長

旬の味がギュッと詰まって今一番おいしい、収穫されたばかりの野菜やくだものを直販します。作り手の顔が見える安心・安全な、外見にとらわれずに流通コストを抜きにした低価格が魅力です。近くの根来寺には4月、境内と周辺に7000本もの桜が咲き誇り、大賑わいします。

和歌山県岩出市押川 37-1
県道63号　TEL.0736-69-0210

かでな

渡口朋子駅長

米軍嘉手納基地に隣接し、屋上展望場からF-15戦闘機や空中給油機などが離発着する飛行場を一望できます。レストランの名物ジャンボチーズバーガーは、1人では食べきれないほどのアメリカンサイズ。町特産の野国いもでペーストを使った野国いもソフトクリームも人気です。

沖縄県嘉手納町屋良 1026-3
国道58号　Tel.098-957-5678

ポート赤碕

山下一郎駅長

漂着韓国漁船を2度にわたり救助した縁で設けられ「恋人の聖地」にも指定されている日韓友好交流公園、韓国からの風を受けると動く重さ2㌧の石風車、韓国資料館・物産館が人気です。そのほか地元漁協、農協直営の新鮮な海産物、農産物の直売所などの魅力がいっぱい！

鳥取県琴浦町別所 255
国道9号　TEL.0858-49-2020

地方創生の核に

重点「道の駅」制度で広げる人の輪

国土交通省が創設した「重点『道の駅』」制度で、全国の「道の駅」の模範となる優れた活動を展開し実績を上げている駅として「全国モデル『道の駅』」に選定された6カ所を紹介する。

川場田園プラザ

地域外から活力を呼ぶ「ゲートウェイ型」として、総合的な観光活動が評価されたのは群馬県川場村「川場田園プラザ」／栃木県茂木町「もてぎ」／千葉県南房総市「とみうら」の3カ所。

「川場田園プラザ」は、「農業プラス観光」で自立する産業、情報、交流の核としての活動実績が評価された。平成8年の開設で、人口約3700人の村ながら道の駅には年間約120万人が来訪しリピート率7割という人気。経済

「川場田園プラザ」のミート工房

SLが走る道の駅「もてぎ」の脇を通過

・地域活性化の拠点として、タウンサイトの形成を目指す「田園プラザ構想」を背景に、観光協会スタッフがビジターセンターに常駐し、宿泊、体験施設など、地域の観光案内に努める。

園内では朝採り野菜・ブルーベリーや乳製品など地域資源を活かし、果物狩りや陶芸などの体験やイベントで村民と来訪者の交流機会を提供。ファーマーズマーケットの出荷登録は村内農家の93％に当たる420人で、販売額は約10億円。80人の雇用が生まれ、真岡鉄道のSLやサーキットなど地域へのアクセスポイントとして賑わいの核に定着。昭和61年の洪水の教訓から、防災井戸を設置するなど地域に根差した防災啓発のため茂木町防災館を備え、平時は地域交流などに活用している。雇用は73人。

もてぎ

「もてぎ」は、真岡鉄道のSLやサーキットなど地域の魅力へのアクセスポイントとしての機能が評価された。

平成8年の開駅で、年間利用者は約144万人。販売額は約7億2000万円に上る。

「道の駅」を核に6次産業化を進め、道の駅が農家から柚子、エゴマなど特産品を全量買い取り、駅敷地に整備した「もてぎ手づくり工房」で手作業で加工。33種類のオリジナル商品を開発、販売するほか、ふるさと納税のお礼として地域PRに活用するなど、ふるさとギフトを企画、地域ならではの地場産品を提供する。

とみうら・枇杷倶楽部のアトリウムではミニコンサートも

萩しーまーとではお魚イベントを開催

とみうら

「とみうら」は、ビワなどの観光資源をパッケージ化し、都市部の旅行代理店へ販売する独創性、先進性が認められた。平成5年オープンで年間利用者は約50万人。約5億円を売り上げ、約60人の雇用を生んだ。

道の駅自身が旅行業資格を取得してビワ狩りや体験企画、菜の花など地域の観光資源をパッケージ化し、都市部の旅行代理店へ販売。観光ニーズを呼び込み観光バス3000台の誘致に成功。地域の100事業者に効果が波及した。特産のビワを道の駅が中心となって加工し、ビワ関連商品50種類のオリジナル商品を開発。規格外品の活用や需要安定で、生産農家の経営にも寄与する。

人形浄瑠璃など、地域文化の発信や継承、交流のための取り組みも活発で、地元産野菜・花卉のマルシェ、観光案内人の常駐、非常用電源などの防災設備も備え、地域の拠点として多様に機能。

地域の元気を創る「地域センター型」は、産業振興への貢献が評価された山口県萩市「萩しーまーと」／愛媛県内子町「内子フレッシュパークからり」の2カ所。

内子フレッシュパークの特産物直売所

萩しーまーと

「萩しーまーと」は、隣接する漁港から新鮮な海産物が直接店頭に並び、地産地消に貢献して評価が高い。平成13年開駅で年間利用者は約140万人。販売額も約10億円に達し、約100人の雇用を生んだ。萩漁港の水揚げ高の約15％を道の駅で販売し、子供向けの地魚料理教室や出張授業を実施し漁業者の所得向上に寄与。地元加工業者と連携して生み出した金太郎（ヒメジ）は約15㌢の小魚で、漁獲の対象ではなかったが、鮮魚や加工品として販売し、土産として人気のヒット商品になった。6次産業化は観光庁、農林水産省の優良事例に選定され「究極のおみやげ」などの受賞で認知度が上がり、更に販売が伸びた。

内子フレッシュパークからり

「内子フレッシュパークからり」は、地元農家の女性達が中心となり、季節の農作物に合わせて加工商品を開発販売するのが特色。平成8年開駅で年間利用者は約80万人。約7億円を売り上げ、雇用効果は58人。町の農産生産額の15％を売り上げる。商品開発、品質管理、イベント企画運営まで生産者自らの手作りで実施。商品開発は、女性で構成する複数のチームで独自商品を開発する女性主役の運営が特長。地場産品を「からりブランド」商品として販売し出荷農家も当初の176人から394人に倍増。

遠野風の丘の見晴らしのいい展望デッキ

地場農産物にトレーサビリティやPOSシステムなどを導入。出荷者へ販売状況や必要農作物を随時配信し、出荷者の直接納品で鮮度向上を追求、安全安心な農産物提供システムを構築した。

遠野風の丘

防災機能では実績のある岩手県遠野市の「遠野風の丘」が選ばれた。

平成10年にオープンした「遠野風の丘」は、広域防災拠点として高度な防災機能を発揮した点が評価された。年間利用者は約100万人。販売額は約6億円で、131人を雇用する。東日本大震災の復旧、救援に際し自衛隊や消防隊、ボランティアの後方支援拠点として活躍し、沿岸被災地の海産物を販売する鮮魚店を開設するなど、道の駅の防災機能を再認識させた。

観光案内所は、沿岸地域の観光復興に向け情報を発信。観光や地方移住など総合案内にも力を入れ、専任職配置のインフォメーションコーナーや、地元野菜・土産を扱う物産ホールも充実。ふるさと納税制度を紹介、納税者に「道の駅」の特産品を提供する。当駅が中心となり県内30の道の駅が共通の新商品を開発するなど、創意工夫で地域交流を活発化する。

重点「道の駅」

ゲートウェイ型

主な機能	都道府県	市町村	駅名	主な特長
インバウンド観光	北海道	ニセコ町	ニセコビュープラザ	国際リゾート地〝ニセコ〟におけるインバウンド観光拠点
	栃木県	那須町	那須高原友愛の森	国際観光地として外国人観光客対応に向けた機能強化
	千葉県	神崎町	発酵の里こうざき	町の資産である発酵文化を「道の駅」を核として世界に発信
	静岡県	伊豆地域	伊豆道の駅ネットワーク	伊豆半島内の８駅をネットワーク化し、地域の多様な観光情報発信
	兵庫県	神戸市	（仮称）神戸北	神戸ブランドや神戸観光の拠点として、国内・海外に発信
	愛媛県	今治市	しまなみ海道周辺「道の駅」	サイクリストを国内外の観光客を地域の周遊観光へ呼び込む
観光総合	北海道	石狩市	（仮称）あったか・あいろーど	国道231号の「情報発信機能」として地域へ呼び込むゲートウェイ機能
	岩手県	陸前高田市	高田松原	震災の実情と教訓を国内・海外に向けて発信
	宮城県	大崎市	あ・ら・伊達な道の駅	地域資源（伊達政宗の史実等）を活用した観光拠点
	秋田県	にかほ市	象潟	環鳥海地域のゲートウェイとしてワンストップで総合観光情報発信
	山形県	米沢市	（仮称）よねざわ	山形県広域観光のゲートウェイとなる観光総合窓口設置
	福井県	大野市	（仮称）結の故郷	「越前おおのまるごと道の駅ビジョン」の核とし、地域資源情報発信
	長野県	青木村	あおき	「体験学習の村」の体験交流拠点機能の拡充
	愛知県	豊田市	どんぐりの里いなぶ	地域の体験観光の総合窓口機能集約や、地方移住に係わる情報提供
	和歌山県	太地町	（仮称）たいじ	「くじらの町」太地のゲートウェイとして歴史・文化の情報発信
	鳥取県	鳥取市	神話の里白うさぎ	神話「因幡の白うさぎ」など歴史・自然の観光を展開
	山口県	下関市	蛍街道西ノ市	街道の歴史・文化を伝える活動や「ほたる舟ツアー」を実施
	佐賀県	鹿島市	鹿島	干潟環境教室を「道の駅」を中心に実施し、観光交流人口拡大
移住	広島県	尾道市	クロスロードみつぎ	地元高校と連携し、インターンシップ実施。地元での就労を促す
	熊本県	小国町	小国	移住定住対策や観光総合機能等、さらなる機能強化を図る

地域センター型

主な機能	都道府県	市町村	駅名	主な特長
産業振興	北海道	当別町	（仮称）当別	地域資源である農産物を農商工が連携し６次産業化
	茨城県	常陸太田市	（仮称）常陸太田	体験圃場施設としてトマトハウス整備や地場産品を活用し体験・交流
	岐阜県	大野町	（仮称）大野	特産品のバラ苗や柿を中心とした産業振興拠点
	兵庫県	朝来市	但馬のまほろば	天空の城「竹田城」等を活かし、産業・雇用等の機能強化
	鳥取県	日南町	（仮称）にちなん	まちを創生するための拠点（コンパクト・ヴィレッジ）を形成
	島根県	浜田市	ゆうひパーク浜田	女性・若者の交流拠点や地域産品のオリジナルレシピを発信
地域福祉	千葉県	睦沢町	つどいの郷むつざわ	「スマートウェルネスタウン」の中核拠点
	長野県	飯島町	（仮称）田切の里	「道の駅」を地域福祉の拠点として、宅配サービスなど実施
	新潟県	十日町市	瀬替えの郷せんだ	夏と冬でせんだ元気ハウスを活用した農業実習、除雪ボランティア
	高知県	梼原町	ゆすはら	「ゆすはらまるごとクリニック」構想の拠点施設とし健康増進
	福岡県	うきは市	うきは	高齢者や女性がいきいきと働き・暮らすための拠点とした整備
防災	福島県	猪苗代町	（仮称）いなわしろ	火山や豪雪等のあらゆる災害に対応した総合防災拠点
	新潟県	妙高市	あらい	豪雪地帯にあって、環境・観光にも配慮した新たな防災拠点
	和歌山県	すさみ町	（仮称）すさみ	南海トラフ巨大地震時の避難場所等の広域防災拠点として整備
	高知県	須崎市	かわうその里すさき	津波避難タワー等を新設し地域の防災拠点として防災機能強化

七ヶ宿

佐々木哲駅長

平成26年4月に山形県側の約4㎞のところに移転しました。周辺は豊かな自然で春は桜、秋には紅葉と季節の眺望が楽しめます。売店では野菜や果物、山菜やキノコ等季節の産品を販売しています。食堂ではごま油の香りとピリ辛の「蔵王坦々ラーメン」がおすすめです。

宮城県七ヶ宿町字上野 8-1
国道113号　TEL.0224-37-272

よしうみいきいき館

村上三恵支配人

来島海峡大橋のすぐ側にあり、世界初三連吊り橋の造形美と急潮流が眼の前に臨める風光明媚な道の駅。獲れたての魚介類を七輪で豪快に焼いて食べる海鮮バーベキューが人気です。鳥ひじき・大島海苔等の海産物も販売中。もぶし（こぶ鯛）の「コロちゃん」もお待ちしてます。

愛媛県今治市吉海町名 4520-2
国道317号　TEL.0897-84-3710

能登食祭市場

村本能久駅長

天然の良港七尾港にあり、姉妹提携している米国モントレーのフィッシャーマンズワーフをお手本にした建物。新鮮な海産物や能登の銘産工芸品を取り揃え、いい品・いい味・いい接遇をモットーに、買った魚をその場で焼いて楽しむ浜焼きや、能登食材のグルメ館もあります。

石川県七尾市府中町員外 13-1
県道132号線　TEL.0767-52-7071

とっとパーク小島

西藪篤司園長

主な施設が海釣り公園という珍しい道の駅です。道の駅＝直売所併設と思われている方は「えっ⁉」という反応をされますが、和泉山系の緑に囲まれた、大阪湾とは思えないほどきれいな自然海岸と美しい夕陽を眺められる展望デッキがあり、釣り愛好家はもちろん、皆さんから好評を頂いてます。

大阪府岬町多奈川小島 455-1
主要地方道岬加太港線　TEL.072-447-5126

有明

田中俊文支配人

人気海水浴場「四郎ヶ浜ビーチ」に隣接し、雲仙普賢岳を望む景観が抜群です。夏期は水着のままビーチやレストラン、温泉センターに出入りできます。おすすめ料理はたこ飯セット・たこ天丼等、お土産品はオリジナルのタコすてーき・たこめし等です。

熊本県天草市有明町上津浦 1955
国道324号　TEL.0969-53-1565

やまだ

豊間根章一駅長

三陸海岸のど真ん中にあり、東日本大震災で町は甚大な被害を受けましたが、被害の無かった当駅は休憩施設に多くの避難者を受け入れました。お土産品には様々な海産物地が オススメですが、新鮮な農産物も自慢で、秋には日本有数の産地として知られる松茸が豊富に並びます。

岩手県山田町船越 6-141
国道45号　TEL.0193-89-7025

列島保全への課題

利根川水系

わが国、国土への働きかけの歴史⑧

戦後の国土造りは風水害との闘いで始まる

台風で河川氾濫繰り返す

戦後の国土造りは戦災復興と食糧増産に加え相次いだ風水害との闘いで始まった。都市を回復して住まいを造り、生活できる環境を整えるのが急務だったが、そこに考えられない規模の強烈な風水害が繰り返し襲った。

敗戦直後1945（昭和20）年9月の「枕崎台風」。最低気圧916ヘクトパスカル、最大瞬間風速55・3㍍の強力な台風だった。秋雨前線の活動で雨が降り続いていたところに台風の雨が重なり、家屋39万戸、田畑被害1万3000㌶という甚大な被害。死者・行方不明者3700人、家屋全半壊8万9000戸、浸水家屋27万4000戸、田畑被害12万㌶。全国に極めて大きな被害をもたらした。

カスリーン台風

「カスリーン台風」が東海・関東地方を襲ったのは2年後の1947（昭和22）年9月。戦後の混乱が続く首都圏を大洪水が襲い、利根川が破堤する大水害が発生した。死者・行方不明者1930人、家屋全半壊9300戸、浸水家屋39万戸、田畑被害1万3000㌶という甚大な被害。死者・行方不明者3700人、家屋全半壊8万9000戸、浸水家屋27万4000戸、田畑被害12万㌶。全国に極めて大きな被害をもたらした。

1948（昭和23）年9月には、「アイオン台風」が四国から東北を襲った。死者・行方不明者840人、家屋全半壊1万8000戸の大被害が出た。道路や堤防の決壊、橋梁の流出、鉄道の不通、船舶流出など被害が相次ぎ、特に岩手、宮城両県で被害が大きかったと記録されている。

1949（昭和24）年8月には、「ジュディス台風」が主に鹿児島を襲った。死者・行方不明者180人、家屋全半壊2600戸、浸水家屋10万戸、船舶流出没123隻という大被害。さらに同月、「キティ台風」が相模平野を襲い、死者・行方不明者160人、家屋全半壊1万7000戸という被害。

1950（昭和25）年9月には、「ジェーン台風」が四国以北に襲来。死者・行方不明者540人、全壊家屋1万9000戸、半壊家屋10万戸、床上浸水9万3000戸、床下浸水31万戸。特に大阪市西部から兵庫県尼崎市にかけて甚大被害を被ったが、昭和初期からの地下水汲み上げによる地盤沈下が原因と分かり、沈下抑制のため地下水の使用制限が政策化された。

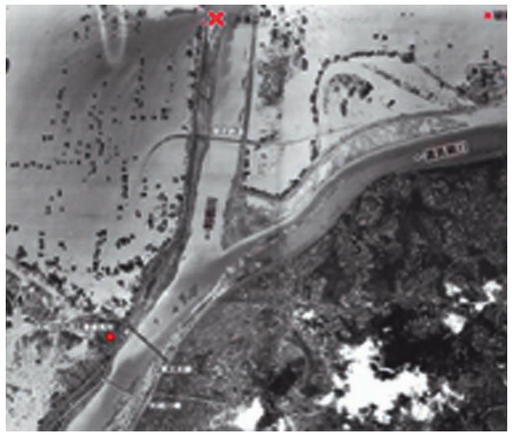
大災害の空白期に発展

戦後の社会資本整備は風水害頻発を受け、戦災復興とともに風水害による被害をいかに防ぐかを緊急の課題とした。当時は台風や洪水に対する備えも十分だったのだ。

1995（平成7）年の阪神淡路大震災以前、1000人以上の死者が出た災害は1959（昭和34）年の伊勢湾台風が最後だから、高度経済成長期は大災害の空白期間に当たる。これは実に幸運であった。大災害の集中期が何度もあるわが国の歴史の中で、一つの奇跡といえる。

高度経済成長の要因としては、政策的な成功に加え、石油価格が安価で安定していたなど、外部要因もいくつか指摘されているが、幸運にも歴史的な災害空白期だったとの指摘はほとんどない。このため「いろいろな災害に常に備えておかなければならない」という認識は、この間にずいぶん薄弱になっている。

近年は大きな風水害に出遭わないため、わが国の治水はほぼ完成した、と思う人も多い。しかし、長い歴史をみると、数年の間に大量死を伴う大災害が頻発したことは何度もある。たまたま近年、大きな台風や強風がないにすぎないと考えねばならない。


カスリーン台風による利根川堤防大決壊（ともに利根川上流河川事務所ホームページより）

碑の記憶⑥

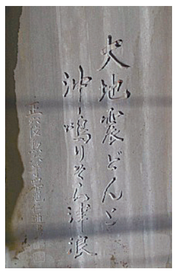
大震嘯災記念

宮城県気仙沼市浪坂
同市三の浜（鶴ヶ浦）

宮城県気仙沼市浪坂や同市三の浜（鶴ヶ浦）など数カ所に、昭和三陸地震津波の予兆や教訓を刻んだ同じ碑文の「大震嘯災記念」石碑が建つ。

浪坂の碑は高さ2・2㍍、幅93㌢で、道路面より地盤が高い標高10㍍の丘の上の宅地内に建立されている。

■碑文の表＝写真


大地震どんと沖鳴りそら津波

■碑文の裏

碑文の文語体を口語体にすると以下になる。

【大震嘯災概況】昭和八年三月三日午前二時三十二分より二分間余にわたる大地震起こる。天より約十五分後、気仙郡沖合方面遥の海底に大小の爆音二回聞こゆ。後二十分にして大津浪来る。その被害区域本県より北海道に及ぶ。畏くも両陛下より御救恤金、更に皇后陛下より重傷者に衣服地、ここに裁縫料各宮殿下より御救恤金を御下賜あらせらる。御仁慈恐懼感激に禁はず。救恤（きゅうじゅつ）：困っている人に見舞いの金品を与え救うこと

国土と日本人
災害大国の生き方
大石久和著

本書では日本の国土の地形的・社会的特徴や国土への働きかけの歴史が明らかにされている。日本人は今、何を考えるべきか、に気づくことの出来る好著。

発行：中央公論新社
定価：882円（本体840円）

近江母の郷
高田実男駅長
蔵造りの建物が特徴で、宿泊可能な研修施設も併設。古民家調の文化交流館では地元の採れたて野菜、花、味噌、漬物等を中心に販売、シルクパウダー入り「フルフルらーめん」は民放ＴＶで日本で２番目の美味と評価を頂きました。食事どころはおふくろの味がモットーです。
滋賀県米原市宇賀野 1364-1
国道 42 号　TEL. 0749-52-5177

南アルプスむら長谷
池上直彦駅長
南アルプス玄関口にあり、癒しのパワースポットとしてテレビなどで注目されるゼロ磁場「分杭峠」も近くです。ミニクロワッサンで有名な「パンや」、雑穀レストラン「野のもの」、地元産農産物を扱う「ファームはせ」、ビジターセンターは、ご休憩・お買物・お食事に最適です。
長野県伊那市長谷非持 1400
国道 152 号　TEL.0265-98-2968

ふれあいパーク・きみつ
岡田典夫駅長
ダム開発に伴い笹川湖周辺に公園や展望台、ダム記念館などと一体で整備された「道の駅」で、豊かな水と緑に恵まれています。物産館には、地元農家の新鮮な野菜、シイタケ、漬物、梅干し、殻が青くて珍しい「アローカナ」などの鶏卵や地酒を取り揃えています。
千葉県君津市笹 1766-3
県道 24 号　TEL.0439-39-3939

みちのえき 駅長セレクション

シリーズ「国土教育」

自然災害大国「日本」

地震、津波、火山噴火、洪水、土砂崩れなどの自然災害が頻発する国土の上で、日本人は暮らしています。とりわけ2014年は、2月の豪雪、8月豪雨による広島市の大規模土砂災害、たびたび上陸した大型台風、9月27日の御嶽山噴火など大規模な自然災害に見舞われた一年でした。年末・年始も、太平洋側の東京では晴天が続いた一方で、日本海側の各地は記録的な大雪に見舞われ、交通麻痺やライフライン切断など、甚大な被害が続発しました。

中学校社会科の地理的分野の新学習指導要領は「世界的視野から日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色を理解させるとともに、国内の地形や気候の特色、自然災害と防災への努力を取り上げ、日本の自然環境に関する特色を大観させる」などとしており、全ての中学生は、日本の国土の脆弱性（厳しい自然条件）と防災・減災対策に関する知識を教科書から習得できます。

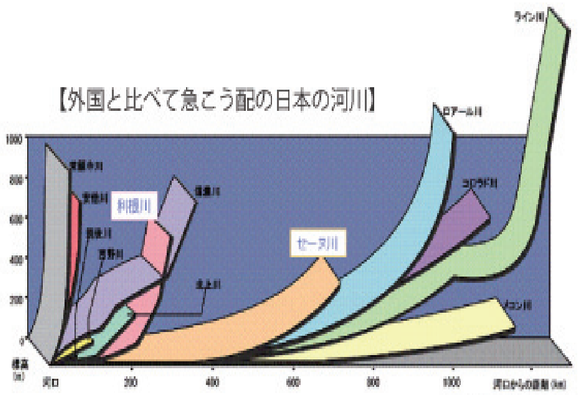
検定教科書（教育出版、帝国書院、東京書籍、日本文教出版）は、いずれも本文8～12㌻を割いて、日本の国土の特色や自然災害と防災・減災への取り組みを次のように説明しています。

◇世界には大地の不安定な地域と安定した地域があるが、日本は環太平洋造山帯に属し、地震や火山の多い不安定な大地上に位置している。

◇日本の地形は中央を走る脊梁山脈によって日本海側と太平洋側に分断されており、規模の小さな堆積平野が臨海部に点在している。日本の河川の多くは、短くて急流である（各社とも日本と諸外国の河川の延長・勾配に関する比較図を用いて説明）。

◇世界的視野からみると、日本の多くの地域は温帯に属し、梅雨や台風、冬の降雪などの影響もあって、年間の降水量は多い。

◇日本には地震、洪水、津波、高潮、土石流、火砕流、冷害、干害、雪崩など自然災害の発生しやすい地域が多く、各種の防災・減災対策（河川堤防、ダム、地下調節地、海岸堤防等の整備、避難場所や避難路の設置、災害の危険地域の指定、気象予報の高度化、地震・津波警報システムの整備、ハザードマップの作成など）を進めてきた。



出典）国土交通省ホームページ

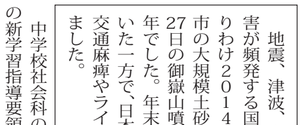
中学社会科（地理的分野）教科書

中学地理教科書が教える国土の自然条件と防災・減災教育

ダム整備に効果

教育出版は、日本の河川の特徴を「短くて急流である」と説明した後、「川は農業や工業、生活のために重要な水資源ですが、急流であるために雨水が短時間で海まで流れます。このため、ダムや堰を造って、水をためる工夫がなされています。ダムには洪水を防ぐ役割もありますが、下流まで土砂が流れず海岸が浸食されたり、生態系に悪い影響を与えるという問題も起きています」と、ダムの役割やダム整備による効果・影響を記述しています。

九州地方の地誌で東京書籍は、土砂くずれにより脱線した列車の復旧作業（鹿児島県指宿市2007年）▽全国の土砂災害発生件数（国土交通省資料）▽土砂や木の流出を防ぐ砂防ダム（熊本県美里町2007年）など、写真や図の資料を用いて、土砂災害問題とその対策について、中学生にもわかりやすく説明しています。



近畿地方の地誌で日本文教出版は「地図からわかる地域の歴史」というコラムを設け、淀川と大和川の河川改修の歴史を紹介しています。

中部地方の地誌で帝国書院は「冬の積雪量が多い北陸の農業の特色は、稲作の占める割合がとても高いことです。北陸では春になると大量の雪がとけて、水を豊富に得ることができますが、昔は洪水がたびたび発生していました。現在はダムや堤防、放水路の整備を進めることで、豊かな水を有効に使えるようになり、全国でも有数の米の生産地になりました」と、治水事業や農業基盤整備による稲作の生産性向上を説明しています。

国土への働きかけ

私たち日本人は、イギリス、フランス、ドイツ、アメリカなどの国々とは大きく異なる、このきわめて厳しい条件を備えた国土に働きかけながら、安全で快適な生活環境を築いていかなければならないのです。（国土学アナリスト 森田康夫）

道の駅 点描

国道愛好家　松波成行

「この頃、都に流行るもの……」にとどまらず、世界で爆発的に流行っている「イングレス」という無料のモバイルゲーム。スマートフォンを使い、現実世界・地域で繰り広げる陣取りゲーム。神社や仏閣、路傍の石仏など、公共的な場にある「ポータル」と呼ばれる地点を巡り、デジタル地図上で「ポータル」をつなぎ合わせて陣地を囲います。ゲームの観点では囲碁やオセロに似た場の読みと、地図とコンパスでチェックポイントを巡るオリエンテーリングの要素を合わせもった新しいテクノロジーといえます。

イングレスが魅力的な一つは、地域のシンボリックな旧所や名跡だけでなく、日本の近代化の中で開発の陰に埋もれてしまった庚申塚や道祖神といった古の「場」への導きがあることでしょう。地元でも「自分の知らない場」があると再認識させられたり、初めて訪れた土地では、有名ガイドには掲載されない地元の愛される「場」に触れることが多々あります。そのためか近年、岩手県や横須賀市の取り組みからイングレスは「地域振興」の観点でも注目されています。

「あなたの周りの世界は、見たままのものとは限らない」。イングレスのキャッチコピーですが、示唆に富んだメッセージです。道の駅の機能とする地域の「情報発信」や、「地域創生」の原点にも通じるのではないでしょうか。

はなぞの
矢田久夫支配人
関越自動車道花園ＩＣから車で２分のところにあります。物産館には、明治初期に造られた祭り屋台が３台常設展示してあります。花時計公園や日だまりの公園では、花と緑、うるおいとやすらぎにふれあえ、ドッグランも。地場産業である野菜・植木・花きの直売所もあります。
埼玉県深谷市小前田 458-1
国道 140 号　TEL.048-584-5225

おがち
佐藤光一駅長
平安の歌人「小野小町」誕生地と伝えられ、建物も小町の旅姿「市女笠」をモチーフにし当地のシンボルになっています。全面ガラスの２Ｆレストランで四季折々の景色とともに、地元の新鮮食材を使用した「手揉みゼンマイ卵丼」本場の「稲庭うどん」等をお楽しみください。
秋田県湯沢市小野字橋本 90
国道 13 号　TEL.0183-52-5500

サンピコごうつ
佐々木英夫駅長
白い砂浜の美しい日本海、緑豊かな中国山地、大河江の川の自然に恵まれ、「海彦」「山彦」「川彦」にちなんだ農林水産物直売所「三彦市」ならではの三彦幸を提供しています。赤瓦が特徴の石州瓦や近く世界遺産「石見銀山」にちなんだ石見焼き、石見神楽なども魅力大です。
島根県江津市後地町 995-1
国道９号　TEL.0855-55-315

みちのえき 駅長セレクション

日本風景街道

街道染める「神山枝垂れさくら」

徳島県神山町
いやし・もてなし神山街道

徳島市の中心部から車で約40分の神山町は、8割が急斜面の山林。人口6000人ほどで高齢化率も高い典型的な過疎地だったが、アーティストの移住支援などユニークな町おこしで活気を取り戻し、最近は地方創生のエースとして脚光を集め始めている。

日ごろは人気もまばらな山間地だが、3月下旬から1か月余は、国道438号沿いにある道の駅「温泉の里神山」や「神山温泉」、お遍路さんの通う四国霊場札所周辺をはじめ町全体が車や人であふれるほどになる。

風景街道の中心になって活躍しているNPO法人「神山さくら会」（粟飯原基行理事長、会員48人）が地域住民とともに長年少しずつ植樹し育ててきた桜が5600本を超え、町中をピンク色に染め上げるほどに生育し、町外からも花見客がたくさん集まるようになったからだ。

桜の7割がイトザクラとも呼ばれ大きく枝が垂れる独特な枝垂れ桜。「神山枝垂れさくら」と名付け、これは街路沿いを中心に植えている。公園や広場向けの桜も、北海道で育成された「紅豊」から、同町出身の桜愛好家が郷里にふさわしい八重桜だと選抜してくれた「神山さくら」で、ひと味違う趣がある。

「枝垂れ桜は全国の桜の1割程度しかなく、街道沿いの並木はとても珍しいそうです。私たちは、日本一美しい桜の里づくり」をキャッチフレーズに頑張ってきましたが、誇大宣伝じゃないのだと自信を持ちましたよ」

初代理事長で「日本さくらの会」認定の「さくら功労者」に個人で選ばれ、今も会には欠かせない谷高重さん（92）は感慨深げに振り返る。

地元農業高校分校の元教師。定年で余裕時間ができた500本近い苗を畑でつくってきた。

ふるさとを「美しい花で元気にしたい」と、1996年ごろから有志数人で桜名所づくりに乗り出した。2002年の会発足、07年の「日本風景街道」登録に際してのNPO法人化と一貫して活動の先頭に立ち、より美しい品種選抜にもかかわってきた。

重点的に植樹している「神山枝垂れさくら」は古くから地元で目立っていた桜で、町内のお寺には樹齢80年とされる見事な老樹もある。谷さんは半世紀ほど前から自宅庭に接ぎ木して育てていたので、会ではこれを母樹として毎年500本近い苗を畑でつくってきた。

咲き誇る枝垂れ桜と一緒に記念撮影

花見シーズンには峠の茶屋を設置

植木を買ってきての植樹活動ではなく、苗ができたあとも台木を植え、接ぎ木し、少し伸びてきたら枝を垂らすための支柱設置、防除、地域でも手分けして植え育ててくれる苗木配布、草取り……とほぼ毎週ある作業はかなりきつい。

数年前からは花見シーズンに峠の茶屋を設けて桜茶の接待、俳句大会も開催している。最近はシーズン以外も訪問客をおもてなしできるようにと、婦人部が中心になって桜を使った料理やお菓子、アイスクリームなどの開発と講習会も定期開催するようになった。

会員の平均年齢が70代と高齢化が心配だが、地元の中学、高校生に総合学習で接ぎ木指導をした縁で、地域では若い植樹参加者も増えてきた。

さすがは、道路の維持管理をお役所任せにせず地域住民で自主的に取り組もうという米国の「アドプト制度」を日本で最初に採用した神山町街道」の合言葉は、「さあ、みんなで美しい道づくり、まちづくり」だったなと改めて思い起こされた。

「まちおこしの勉強にと目立つほど増えてきた全国からの視察旅行者にも桜のおもてなしが歓迎されているので、今後はお花見客がくつろげる広場づくりも進めたい」と、粟飯原理事長、中井逸文事務局長。「いずれは1万本植樹も」と夢は膨らみ、まだまだ当分手を抜けそうもない。

紅色が特徴の「神山さくら」

若い世代に桜の接ぎ木ノウハウを講習

俳句大会の優秀作を記入して桜のそばに飾る

「お遍路さん」にも見所の案内

ロゴマークはコシノジュンコさんが手がけ、日本の象徴富士山をモチーフに、歴史や文化が道路を介して未来へと続いていくことへの願いをこめて表現した。

■道の駅との連携強化、拡充を確認

各地で風景街道の活動を進めている団体の交流、自主研修を目的とした「日本風景街道大学宮崎本校」が1月、宮崎市内で開かれた。5回目の今回は「日本風景街道における道の駅」がテーマ。

全国から約140人が参加。宮崎市が行政からみた市内道の駅の現況と展望を、宮崎県内の道の駅「かまえ」「北川はゆま」など4駅が道の駅の現状と課題を、国土交通省九州地方整備局が第2ステージに向けた地方の拠点とネットワーク化について、本四連絡道「しまなみ海道」の道の駅関係者がサイクルツーリズムの概要について、それぞれ発表した。

その後2日間にわたり、日本風景街道と道の駅との連携のあり方や、サイクルツーリズム、地域ができるおもてなし等について討議した。

■道路景観向上へ意見交換会

日本風景街道の推進に道路管理者や行政がどう取り組むかを討議する意見交換会が1月、都内で開かれた。

北海道開発局が「シーニックバイウェイ北海道」で進む景観改善の取り組みを、宮崎県と宮崎市が「日南海岸きらめきライン」の沿道修景策を、福井県若狭町が「若狭熊川・鯖街道」で国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている熊川宿のまちなみ保全について、それぞれ道路管理者や行政としての取り組みを発表。

その後、道路管理者の役割を踏まえた道路景観づくりの継続的な推進を目指す方向性について話し合い、道路管理者が率先して住民や地域と連携することによって風景街道の取り組みを進めていくことを確認した。

地域を支え、暮らしに寄り添うUR都市機構

待望のまちびらき　女川駅周辺で3月21日

織笠地区で造成中の土砂を運搬するベルトコンベヤー。低地部の市街地を7～8㍍盛土

岩手県山田町でも「まちびらき」（3月29日）

山田町の織笠地区は防災集団移転促進事業による高台移転と、土地区画整理事業による低地部のかさ上げで市街地を復興。うち高台部1ブロック60区画が造成工事を終え、まちびらき。住宅建設は7月頃からの予定

まちびらきへ整備の進む女川駅舎と周辺地区

昨夏完成の離島初となる災害公営住宅（女川町出島）

女川町営運動公園住宅

女川町営運動公園住宅の中庭で談笑する居住者。居住者同士が自然にコミュニケーションを図れる空間を豊富に用意

UR都市機構は東日本大震災直後から復旧・復興に取り組み、現在も岩手、宮城、福島3県22の被災自治体と覚書や協定を結んで400人以上の職員が復興最前線で汗を流しています。低地の嵩上げや宅地造成、特に土地区画整理事業は被災3県の実施面積の3分の2以上を支援。災害公営住宅建設では、5036戸の建設要請を受け3月1日現在997戸を完成させましたが復興はまだ道半ば。UR都市機構は一日も早い復興へ全力で取り組みます。

女川町とUR都市機構は平成24年、パートナーシップ協定を締結し、町全体の復興に向け、包括・総括的に町をサポートしている。女川駅周辺部では3月21日のJR石巻線全線運転再開とともに、待望の「まちびらき」。米プリツカー賞を受賞した建築家・坂茂氏が設計し、温泉やギャラリーもあるユニークな駅舎。来秋までには地域の交流センターや水産業の魅力を体験したり調理実習ができる拠点施設、テナント型商業施設、物産センターなども相次ぎオープンする。

「力を貸してくださる皆さまとともに〝チーム女川〟として千年のまちづくりへ向けて新たな一歩を踏み出します」と須田善明町長。

UR女川復興支援事務所は、高台の女川町営運動場に昨春完成した200戸の災害公営住宅で、「階数も低く抑えて住み易さに配慮し、水産業のまちらしく漁具も洗えるようピロティに水洗い場も設けました」と、さまざまな工夫や配慮に知恵を絞った。

コミュニティスペースでは、地域の絆を取り戻した居住者たちにやっと笑顔が戻った。

UR都市機構

西山公園

伊藤努駅長

「日本の歴史公園100選」指定の西山公園に隣接し、エレベーターと橋で連絡する道の駅です。4～5月には5万本のつつじが楽しめ賑わいます。公園には日本庭園、動物園、芝生広場、展望広場、冒険の森などもあり、毎月様々なイベントを開催、4月4～5日は一周年記念祭です。

福井県鯖江市桜町3-950
国道417号　TEL.0778-51-8181

白沢

斎藤孝夫副支配人

四方を山々に囲まれた風光明媚な道の駅です。15万年の歳月を経て形成された世界でも有数の河岸段丘「片品川河岸段丘」に面した造りになっていて、天然温泉施設「望郷の湯」露天風呂からの眺めは絶景です。直売所では地元産の新鮮で美味しい野菜・果物等を購入できます。

群馬県沼田市白沢町平出1297
国道120号　TEL.0278-53-3939

樋脇

竹隈健二支配人

市比野温泉街の入口にあり、入浴施設はありませんが、24時間無料で利用できる足湯や、泉質を飲んで感じてもらう「飲泉場」などが併設され、気軽に温泉を楽しめます。直売所では新鮮な農産物、食堂では豚肉の自家製味噌焼き定食、軽食では当店手作りコロッケが大人気です。

鹿児島県薩摩川内市樋脇町市比野156
県道42号（空港道路）　TEL.0996-38-2506

ハチ北

井上俊一郎駅長

関西有数規模のスキー場もあるハチ北高原の入口にあります。駐車場には日本初の自然エネルギー―を使う無散水融雪装置を備え、チェーン着脱が可能。レストランには但馬の牛丼などオリジナル料理がいろいろあり、土産物は激辛唐辛子、椎茸、沢庵や卵の燻製などが好評です。

兵庫県香美町村岡区福岡6-13-2
国道9号　TEL.0796-967-1600

彼杵の荘

岡崎省三駅長

長崎街道の旧宿場町で、茶葉を痛めないよう丸く巻いた「そのぎ茶」と鯨で有名です。古民家風の食事処では、鯨入りのだご汁や炊き込みご飯、うどんや定食、そのぎ茶を使ったソフトクリームや茶ちゃ焼きが好評です。地元の新鮮野菜や果物、大村湾で獲れた魚、お茶や鯨を使った惣菜やスウィーツ等も販売しています。

長崎県東彼杵町彼杵宿郷747-2
国道205号　TEL.0957-49-3311

柳津

山嶋美佐樹駅長

一級河川境川がはぐくむ豊かな自然の中で、太陽光発電や風力発電、屋上緑化を採用し、「環境にやさしく自然あふれる都市型道の駅」をコンセプトにしています。冬期は、地域特産の「佐波いちご」（品種名とちおとめ、美濃姫）と「いちご大福」が人気。春は桜がきれいです。

岐阜市柳津町仙右城7696-1
主要地方道岐阜南濃線　TEL.058-388-8719

みちのえき 駅長セレクション

国土学事始め

大石久和
京都大学大学院
特命教授

平将門の乱と道路

京都の公家たちが政治を仕切る摂関時代から、地方に武士たちが興隆しそれぞれの地域を治める分権型の武家時代が始まる頃、関東では「平将門の乱」が起こりました。

将門は新帝を称したため朝敵とされたりするなど、時代によって評価はまちまちですが、関東各地には多くの将門伝説が存在しているし、江戸・東京にも神田明神や首塚など将門ゆかりの施設があります。また、NHKの大河ドラマで取り上げられたこともあります。

ここで紹介するのは、将門がいかに短期間に関東を駆け回ったかということです。将門の活動は反乱以前からあるものの、反乱そのものは939年（天慶2）11月に始まり、翌年の2月には終了した、きわめて短時間の事件でした。

この短い期間に、将門は常陸国府、下野国府、上野国府、武蔵国府、相模国府、下総国府と転戦したのです。現在のような高速道路もなく、舗装された国道もない時代に、大勢の武装した武士たちが、これだけの距離を短時間に移動できたのはなぜなのでしょうか。

古代官道は幅員が広い（9～12㍍）ことや直線性に優れている（14㌔㍍もの直線区間の例がある）ことが、最近の発掘によって明らかになってきたことは紹介したことがあります。近江俊秀氏は官道の利用が当時の社会を変えてきたことに着目し、「道路は社会をどう変えたのか」という観点から、「日本の古代道路（角川選書）」を著わしました。

近江氏は、これだけの長距離の短時間移動が可能だったのは、古代官道が整備されていたゆえというのです。この反乱以降、班田・口分田は消えて公家の時代が終わり始め、武士の存在が公認されるなど、武家中心の時代となってきました。

移動の容易性をもたらした道路が、将門の乱を通じて新たな時代を切り開いたのです。

緑化の原点から考える

全国植樹行事が始まって80年

公益社団法人国土緑化推進機構　常務理事　青木正篤

国土のすがたは人と自然との関わりによって形づくられてきた。日本は豊かな自然に恵まれる半面、風水害や地震など自然災害が多発する地理的条件のもとにある。自然の前で人間は無力であり、自然の恵みに感謝すると同時に自然の猛威を畏れ敬う心から古来、風、雨、雷、地震などの自然現象や、山や森林、巨木、川、太陽や月、星など、森羅万象に神を祭ってきた。

「日本のような多彩にして変幻きわまりなき自然をもつ国で八百万の神々が崇拝され続けてきたのは当然のことであろう。山も川も木も一つ一つが神であり人でもあるのである。それをあがめそれに従うことによってのみ生活生命が保証されるからである」（寺田寅彦「日本人の自然観」）

日本人は自然の摂理に適合しながら自然の恵みを享受できるよう、森林を荒らさず大切にしながら建築用材、薪など生活に欠かせない資材の生産を続けるため、資源が枯渇しないよう心がけてきた。

昔も同じ森への心

いにしへの人が植ゑけむ杉が枝に霞みたなびく春は来ぬらし（万葉集・柿本人麻呂）

いにしへの人も守り来し日の本の森の栄えを共に願はむ（平成3年歌会始・御製）

2首の歌が詠まれた時代は1300年以上隔たるが、森に対する気持ちは共通のように思われる。

日本は国土の3分の2を森林が占め、先進国でこれほど森林が残る国は希だが、少し歴史をさかのぼれば、全国にはげ山が広がる極度に荒廃した時代もあった。戦後の昭和25年頃は、千葉県面積の約3倍150万㌶の荒廃地が全国に広がっていた。

唐の詩人杜甫は「国破れて山河あり、城春にして草木深し」と詠ったが、終戦後の日本は山河も荒れ「草は深くとも木は少なかった」。昭和20年代は20年の枕崎台風や23年の福井地震で死者・行方不明者が3000人を超える被害をもたらしたほど、毎年のように甚大な被害が生じ、30年代も1000人以上の人命が失われる大災害が頻発、34年の伊勢湾台風は死者・行方不明者5000人を超す未曾有の被害をもたらした。

茨城県桜川市にある全国緑化事業発祥の地の石碑

国土緑化を国会で決議

このため緑の国土を回復する懸命の努力が行われ、23年には参議院で「国土保全に関する決議」を満場一致で採択。24年には衆議院で「挙国造林に関する決議」が行われた。26年には衆参両院の本会議で「国土緑化推進に関する決議」がいずれも満場一致で採択されている。

24年の衆院決議の提案理由説明要旨の一部を掲げる。

「今やわが国は山林の一角より恐るべき速度をもって国土崩壊を起こしつつあり、今にして山林の荒廃を防止し森林の復興をはからなければ、産業も経済も文化もすべては根底から破壊される運命にある。政治が目前のことにばかり忙殺されて国家百年の大計を忘れることありとすれば、それはすでに国家の政治とはいえない。（中略）…今こそ敗戦の重圧の中から国家再建の民族的使命を自覚し、国を挙げて造林しなければならない。北欧の小国デンマークは北海道の3分の2にすぎぬ国であり、約80年前ドイツ、ノルウェー等と戦い敗戦の身となり、わが国同様国土半滅不毛の地といわれた国だが、指導者ダルカスを中心とする一大国民運動として挙国造林を実施した。デンマーク国民の永い永い血と汗と涙の努力は見事に成功し、現在世界におけるもっとも豊かな農業国家、文化国家を築き上げている事実を思うとき、日本国民が祖国を愛する情において断じてデンマークの人々に劣るものでないと信じ、挙国造林に対する政府の善処と国民の奮起を期待する次第である」

道の駅にも充電インフラ整備

次世代自動車の普及めざし経産省

3月から補助金（申請）受付開始

電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド自動車（PHV）など環境にやさしい次世代自動車普及に不可欠な充電インフラ整備・拡充を進めていた経済産業省は、先の平成26年度補正予算で切れ目無く、3月から「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」の補助金申請受付けを開始する。

クリーンエネルギー社会の実現を国際的にもアピールしているわが国は、2030年までに新車販売の5～7割を次世代自動車にすることを閣議決定している。

このため同省では、EV・PHV車両本体の購入補助の他に、EV・PHV用の充電設備の整備に補助金を用意し、道の駅、高速道路のサービスエリア・パーキングエリア、ショッピングセンター、会社の従業員駐車場、マンションなどにも順次普及させ、「電欠なき日本」の実現を目指してきた。

具体的には平成27年2月末申請締切の平成24年度補正予算では、公共性のある設置の場合は充電器購入費と工事費ともに3分の2が補助されてきた。

今回の事業は総額300億円。補助内容は、交通の要衝である道の駅等は充電器購入費や工事費も定額とするなど拡充している。一般社団法人次世代自動車振興センターで申し込みを受け付ける予定。

■受付窓口は同センター（http://cev-pc.or.jp）。補助制度の問合わせは「充電インフラ補助コールセンター」（03－5501－4415）

道の駅「なるさわ」に設置されたEV・PHV用充電器

吉野路 上北山

更屋よね子駅長

97％が山地の深い緑と「大和の水31選」の北山川を眺めながらほっと一息できる駅です。レストランではおいしい水で入れたコーヒーや山の幸、川魚などの郷土料理、売店では地元特産の吉野杉箸や木工品、栃モチ、いざさ寿司など好評。対岸に温泉棟、村営ホテルがあります。

奈良県上北山村河合 1-1
国道 169 号　TEL.07468-2-0169

にらさき

澤登祐二駅長

モダンな外観が印象的で、隣接するゆ～ぷるにらさき（温泉・室内プール）へ歩道橋で行き来できます。季節の野菜や果物がたくさんあり、味覚ではカラメルをかけて食べる醤油ソフトアイス、爆弾おにぎりがお勧め。土産物は勘介ほうとう、新府焼き米、武田八幡味噌が人気です。

山梨県韮崎市中田町中條 1795
国道 141 号　TEL.0551-25-5021

高岡

正木康生駅長

宮崎県で一番最初に認可された道の駅です。店内に加工場を持ち、ここで作る蒸し菓子「ふくれ」と赤飯は特に人気になっています。他にも甘乳蘇を使用した「醍醐ビタミンソフト」300円や、柑橘の町らしく、日向夏や高岡文旦など品揃えも多く販売しています。

宮崎市高岡町花見 304-5
国道 10 号　TEL.0985-82-4936

駅長セレクション

「林業の再生なくして地方創生なし」健全な森林の整備こそ急務

第一回国土緑化大会（甲府市）会場と現在の様子㊥。㊦第一回国土緑化大会で昭和天皇がお手植え

国土緑化が緊急の政治課題で、デンマークの「挙国造林」を模範に取り組むよう訴えている。デンマークの造林は内村鑑三が明治44年に行った講演「デンマルク国の話」で詳しく述べており、当時大きな影響を及ぼした。昭和25年1月、国民運動として国土緑化運動を進めようと各界各層有志が国土緑化推進委員会を結成、全国で国民運動が始まった。創立総会で当時の衆院議長幣原喜重郎は次のように挨拶した。

「緑化運動は我が国の復興にもっとも関係深い事業であります。地方へ参りましても目に触れる山々の荒廃はまったく痛ましい程で、慄然たるものがあります。日本の国土は今こそ緑をもって復興しなければならない。心ある人々は誰しも同じ意見であると思います。年々数度の台風の襲来による被害状況は全く見るに忍びないものがあり、緑化運動の必要はまさに身に迫るものがあります。単に観光などの目的のみならず国土保全のため、志を同じうして努力していただくよう特にお願いいたしたいと存じます」

国土緑化運動は当時の切実な状況から生まれ、荒廃した危険な国土に一日も早く緑を回復し、安全な国土基盤を回復させるため国民一体の努力が払われた。

全国的植樹運動のはじまり

戦後の緑化運動以前にも国民運動としての植樹運動はあった。大正から昭和初期にかけて「愛林日」「植樹の日」が設けられ植林運動は活発だった。昭和恐慌による社会不安、とりわけ農山村の不況は厳しく農山村の振興と森林資源の拡充を図るため昭和8年、大日本山林会会長和田国次郎を中心に「愛林日設定委員会」を設立。愛林思想普及啓蒙のため毎年4月2～4日を「愛林日」とし、森林愛護と植林推進を決議、農林省も積極的に協力した。

翌9年から全国的な樹木植栽日として全国に呼びかけ、ポスターやビラを配布し、苗木も無償配布。第1回愛林日には茨城県筑波山の鬼が作国有林で記念植樹が行われた。その場所は永く不明だったが関係者の努力で特定され、国土緑化推進委員会理事長だった徳川宗敬氏の発意で昭和61年4月、「全国緑化行事発祥の地」の碑が建てられた。

「愛林日」が全国規模に

「愛林日」は昭和11年には全国規模で実施されるようになり、国民の間に愛林思想が急速に浸透。愛林日の記念植樹は昭和9年から19年まで継続したが戦中戦後の混乱と人手不足、物資不足で20、21年は中止。しかし、戦後の混乱期でも国民から緑化思想は失われていなかった。

大日本山林会関係の6団体を正会員に22年、「森林愛護連盟」を結成。「緑化の父」徳川宗敬氏が会長に就任し、中断していた愛林日行事が4月、南多摩郡にあった帝室林野局林業試験場に東宮殿下のご来臨をえて記念植樹を実施した。23年には東京都青梅町で天皇皇后両陛下のご臨席の下行われ、24年は神奈川県箱根町千石原で実施。戦後始まった全国的な緑化運動の原点である。25年に「国土緑化推進委員会」に発展、「植樹行事ならびに国土緑化大会」として実施され運動のシンボル「緑の羽根募金」が始まった。これが「全国植樹祭」「緑の募金」として今に継続されており、本年5月には第66回全国植樹祭が石川県で開催される。

わが国の森林は過去何度も荒廃したが、時代時代に植林が行われ森林を守る努力を継続、豊かな緑を取り戻した。地球温暖化で極端な気象現象が世界各地で頻発、わが国でも毎年台風、竜巻、集中豪雨などによる自然災害が多発、巨大地震の確率も高まっている。寺田寅彦が言うように「特殊な天変地異に絶えず脅かされなければならない運命の下に置かれていることを一日も忘れてはならない」のである。

再び荒廃の恐れ

永年の緑化運動でわが国土は緑に覆われ世界有数の森林国となったが、山村の過疎化、高齢化の進展、1000万㌶の人工林を中心に森林は毎年1億立方㍍以上生長するのに需要がない、木材価格が安いなど様々な問題があり、今森を守る努力をしなければ再び荒廃の恐れがある。

「地方の活性化なくして日本の再生なし」「林業の再生なくして地方創生なし」。先人の努力で育った森林資源を活かして山村を活性化し、健全な森林を整備、安全な国土基盤を確保することが重要かつ緊急課題になっている。

■みどりの安全保障　森づくりの道フォーラム

全国緑化行事発祥の地（茨城県筑波山麓）に至る荒廃した山道を補修する道普請プロジェクトの一環「みどりの安全保障　森づくりの道フォーラム」（主催:国土緑化推進機構、東京農業大学、大日本山林会、毎日新聞社）が1月、都内で開かれ約110人が参加。国連フォレストヒーローでNPO法人「森は海の恋人」の畠山重篤理事長の総括講演、東京農大の宮林茂幸教授や林野庁の牧元幸司林政部長らが森づくりの課題などを話し合った。

■第66回全国植樹祭　石川県で5月開催

全国植樹祭が5月17日、石川県小松市で「木を活かし　未来へ届ける　ふるさとの森」を大会テーマに開催される。全国植樹祭は、毎年春、天皇皇后両陛下ご臨席のもと国土緑化推進機構と開催地都道府県の共催で行う国土緑化運動の中心的な行事。第1回大会が昭和25年開催され、石川県の開催は昭和58年、河北郡津幡町での第34回大会以来、32年ぶり2回目。

3月21日 都「海の森」で国連森林デーイベント

約2500本植樹 ミニコンサートも

毎年3月21日は「国際森林デー」です。地球上のあらゆる森林はきわめて貴重で重要であり、この機会に森林や樹木を守り育てる活動を積極的にしようと、2012年の国連総会で決められました。

日本でもこの日、東京都「海の森」（江東区青海3丁目地先）で、「国連森林デー2015」～国際交流と海の森植樹～と名付けたイベントが開催されます。

この公園は"海から都心に向かう（緑の）海の道を創ろう"と都で整備中のところ。ふだんは立ち入りできませんが、当日はりんかい線東京テレポート駅から無料送迎バスが運行され、希望する一般市民のほか駐日外国大使を含む国際機関職員と家族、留学生らがたくさん参加予定です。

ミニコンサート、踊りなどの後に約2500本の植樹を予定しています。問い合わせは実行委員会事務局（03・5540・7686）。

国際森林デー2015中央行事
海の森植樹イベント実行委員会
（公益社団法人国土緑化推進機構、公益財団法人森林文化協会、公益財団法人オイスカ、特定非営利活動法人樹木・環境ネットワーク協会、林野庁）

駐日外国大使らも多数参加した昨年の「国際森林デー」イベント

地球の緑を大切にと東京からも発信

駅長セレクション

ゆめランド布野

廣田幸男駅長

広島県と島根県境に位置し緑豊かな自然に恵まれた道の駅。山菜等季節の野菜や加工品を販売する市場では地元産生乳と季節の野菜、果物を使ったジェラートアイスを製造販売し、レストランでは地元野菜のふるさと惣菜バイキング、町内で飼育されたダチョウ肉料理も好評です。

広島県三次市布野町下布野 661-1
国道 54 号　TEL.0824-54-2929

やちよ

吉岡一男 K・I・T 運営会代表理事

開駅18年目、千葉県で3番目に出来た老舗の道の駅です。東京から30㌔ですが、田園風景が目にやさしく、新鮮で安価な野菜がたくさんあることを取り柄にしています。地元酪農家が作ったアイスクリーム屋さんや、地元産野菜をふんだんに巧みに活用したレストランが好評です。

千葉県八千代市米本 4905- 1
国道 16 号　Tel.047-488-6711

にしお岡の山

伊藤貞幸駅長

地元生産農家の新鮮な産直野菜を中心に、日本有数の漁獲高、生産量を誇るウナギやアサリ、せんべい、抹茶、薔薇、カーネーションの販売に力を入れています。当駅オリジナル商品、特産品を活かした加工品を取り揃え、西尾の名産品に拘った各種イベントも随時展開中です。

愛知県西尾市小島町岡ノ山 105-57
国道 23 号　TEL.0563-55-5821

人口人口 28

芝浦工業大学マネジメント研究科客員教授
谷口博昭

「地方創生」に資する建設ビジネス

私は、主として社会人を対象に「建設ビジネス戦略」の講義を行っているが、聴講生から「建設ビジネスは他産業ビジネスと異なり、事業実施の合意形成に長時間を要し、設計、用地買収、施工、管理、運営に至るまで事業関係者も多く、理解に根気が要る」との感想を聞くことが多い。講義を終えた後は経済社会にとって重要なビジネスであることが理解されるので、悪いイメージ払拭には分かり易い丁寧な説明が求められる。

少子高齢化・人口減少時代、東京一極集中を避け地方が消滅しない様にするため、「地方創生」が現下の最重要課題になっている。これまで幾多の地域活性化策が実施されてきたにも拘らず大きな効果を発揮していない。

「地方創生」は「地域再生」とは異なり広範な政策で、これまでの延長上でなく「地方が主体、国は支援」を基本に、防災・減災等に資する国土強靭化計画と連携を図りつつ、「道の駅」の様に地域資源や人材を活用した「地産地消」地域の発想に基づく、長期的な取り組みが求められる。

製品が移動可能であり、労働賃金の安い地域に拠点を置かざるを得ない工業やIT等のハイテク産業は、あまねく地方の雇用を期待できない。「地産地消」産業、サービス産業が然るべく雇用を担うことを考える必要がある。

コンパクトなまちづくり、インフラの維持管理・更新、防災・減災の他、被災した際の迅速な初動活動や復旧・復興等の安全・安心とともに、地方の雇用・経済、「ひと・まち・しごと」をセットで創生し得るのは、建設ビジネスである。

建設ビジネスのみでは持続できない場合は、既に地方建設業者の「建設トップランナー」が先行して実施している農林水産業や介護等社会福祉産業との連携が望まれる。

「地方創生」に資する建設ビジネスに期待したい。

ふるさと納税と民主主義

地方創生という名の下に「ふるさと納税」が変わろうとしている。ふるさと納税は都道府県や市町村に寄付すると、2000円を超える部分について一定限度額まで所得税と住民税が減額される制度で2008年に始まった。この仕組みは都市と地方の税収格差を是正し、国から地方への地方交付税の削減を目的としていた。

寄付者は寄付金の殆どが確定申告で控除され、寄付金額に応じて故郷の農産品を受け取ることができるので金銭的にメリットを感じている。地方自治体は寄付行為の対価として農産品を寄付者に送る。寄付金と農産物の原価との差額は地方自治体の収入になる。地方自治体も寄付者も、農産物の生産者も儲かる「三方一両の得」の構図である。

ふるさと納税者には地元産野菜詰め合わせなどが送られる

「道の駅」でも、地元の特産品をふるさとと納税の見返りに送るところが増えてきている。

しかし、私はやや疑問に思う。故郷から都市に移って暮らす人々の愛郷心を活用した制度だが、必ずしも地方自治体の税収不足を補うものにはなっていないように思える。寄付行為は本来、対象となる行為に賛同した結果なされるもので、ふるさと納税は都市住民の愛郷心を利用した、極論すれば欺瞞的行為ではないだろうか。もちろん地方自治体によっては取り組み内容を明示し、その取り組みに賛同してもらい、取り組みを実現するため寄付金を活用する、本来の目的に沿ったところもある。

だが、全体的には故郷の特産品を目玉にした目くらまし的行為にしか見えないところが多いように思えてならない。こうした情勢下で「地方創生」という名の下に、ふるさと納税を増やすため、確定申告をしなくても税金が控除される仕組みが導入される予定である。

本来のふるさと納税は目的税の一つだ。現在の民主主義の下での税の仕組みは中央集権的で、いったん中央に税金が集められ、使途については選挙で選ばれた政治家と官僚が決めている。国民の多くが必ずしもそのような使途は望まなくとも、例えば集団的自衛権の行使を目的に防衛費は増額され、年金は減額されようとしている。

税金の使途をすべて政治家に一任している訳ではないのに、代議制という民主主義の仕組みの下で正当化されている。戦後70年の総括が叫ばれている昨今、この国の民主主義は何処に行こうとしているのか。

国民には無力感が残り、民主主義の最後の砦とも言われる選挙にも行かなくなってしまった。事の本質は、戦後レジームからの脱却や憲法改正を目指す動きには無い。

今こそ防災の日常化や内部化を

ゴミの分別、ハイブリット車など今は当然の環境対策も、20年前はどうだったか。ゴミはごちゃ混ぜに廃棄物として捨てられ、燃やしたり埋めたり。ハイブリット車は電気と併用で燃費が良く二酸化炭素排出量も少ないが、開発当時は高額の花。昨今は日常生活でゴミは分別し資源化してリサイクルし、ハイブリット車は、技術開発や特別減税で大衆車になった。

環境問題は解決すべき課題と分かっても、システム不備や高コストでなかなか対策が取れなかった。環境対策はあくまで外付けで、地球温暖化やエネルギー・資源の枯渇に対して社会が危機意識を持ち、法制化や国民の自覚が高まったことで日常生活に溶け込み、本体へ内部化していった。環境対策を内部化した組織や企業は社会的に評価され、生産価値が上がり利益も向上していった。

こうした環境対策の歴史を振り返り、現在行われている災害対策を考えてみる。災害対策も環境対策と同様、日本人が自然と折り合って生きていくための重要な術だ。しかし、防災費用は現時点での採算性や効率性を上げる訳ではなく、通常別枠で計上される。最近は東日本大震災のため社会の関心が高く、防災予算は優遇され別枠だが、数十年後もそうだろうか。

「禍は忘れた頃にやってくる」。

社会の要請は多様で、偶発的な災害対策の優先度は決して高くなく、即効性の高い日常的な要請が優先されるが、環境対策がそうだったように、災害対策も日常化や内部化していく必要がある。このことで、突如災害が発生しても、防災意識が生活や市場のなかに刷り込まれた人々や組織は、日常的な行動として振る舞い、自助や共助意識も高まる。防災費用が内部化されるとコストダウンや技術開発により、防護機能を有する施設は市場化され強靱美を放つ。

防災の日常化や内部化は、環境対策同様に国民や市場に受容され、制度設計や技術者の創意工夫が不可欠である。これは津波や高潮災害を受ける海洋国日本に必須で、東日本大震災後の復旧工事や南海トラフ巨大地震発生への対策が進む今こそ、タイムリーだと思う。（一般財団法人沿岸技術研究センター　八尋明彦）

農業と国土

NPO 生物多様性
農業支援センター
理事長　原　耕造

自尊心の希薄な国民に

戦後の総括ではなく、明治維新以降に日本が目指してきた近代国家のあり方から総括しないと、問題の本質は見えてこないように思う。

明治維新政府が目指した近代国家は、国民の代表機関である議会制度や統一的に組織された行政制度、合理的法体系に基づく司法制度、国民的基盤に立つ常備軍等が整備され、中央集権的統治機構をもつ国家だ。大日本帝国憲法が制定され代議制民主主義が実現し、西洋技術の導入で産業革命は起こった。

しかし、日本は敗戦によって日本国憲法が制定され、普通選挙による代議制民主主義が行われ、経済成長が実現し、憲法9条が実現した。だが、国の統治機構を整備するだけでは近代国家への衣替えはできず、古神道や仏教、儒教の意識を国民は喪失してしまった。

戦後70年間、自由と平和と民主主義の名の下で「経済成長」という「神話」だけを信じてきた結果、経済成長が止まると成長神話は崩壊し、昔の日本人が持っていた普通の暮らし方を思い出せず、自尊心の希薄な国民になってしまったと思う。

今は戦後レジームからの脱却でも戦後70年の総括でもなく、明治維新以降の日本が本来目指した、近代国家と民主主義の総括をするべきではないだろうか。日本人が当然と思っている民主主義が、日本の気候風土が育んだ社会の価値観に合致しているか、根本的に見直すことが大切ではないかと思う。

ふるさと納税者には地元産野菜詰め合わせなどが送られる

道の駅への期待

株式会社ブリティッシュ・ヒルズ
営業部マネージャー　小林　文樹

コミュニケーションの場に　British Hills

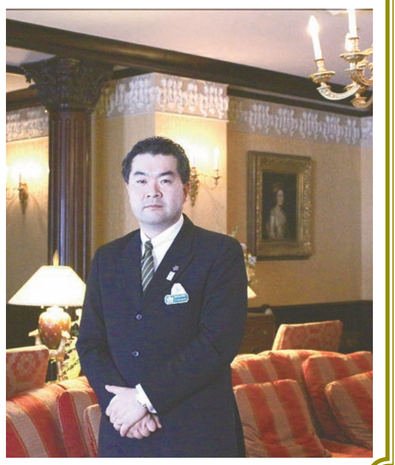
福島県天栄村にある私どもの施設は英語研修施設兼リゾートホテルとして、創業21年目を迎えました。経営母体は学校法人佐野学園（神田外語グループ）です。

近くには風光明媚な羽鳥湖があり、道の駅「羽鳥湖高原」も営業しています。森と湖の素晴らしい高原です。

私どもの施設の最大の特徴は、英国の本物の建物です。荘園領主の館「マナーハウス」を中心に、各時代様式の建物が並んだ敷地内は完全な別世界。この施設を利用して、研修施設としては世界へ羽ばたく人材育成のお手伝い、リゾートホテルとしては優雅な雰囲気の中での異文化体験をしていただいています。いずれもキーワードは「コミュニケーション」です。

そうしたこともあり、道の駅への期待といえば、やはりまずコミュニケーションの場としての役割です。

観光客と地元の方々との交流にとどまらず、海外からのお客様にも加わっていただければ最高です。



地元の天栄村は「英語の村てんえい」を宣言しています。地元の子供たちがそんな道の駅で外国の方々とコミュニケーションができれば、本当に素晴らしい国際交流の体験の場にもなります。

私どもは、こうした国際交流の場としての道の駅作りに少しでもお手伝い出来たら、本当にうれしい限りです。

■お知らせ
「道の駅への期待」は第2ステージに入った道の駅に対し、「わが社は道の駅でこんな事業を展開したい」「道の駅をこんな風に使っては」などのアピールを、主に企業や各種団体などに提案してもらうコーナーです。その会社などを代表して、個人の考えをベースに持論を展開してもらいます。掲載希望の会社や団体は、本紙編集部（info@route-press21st.jp）までご連絡ください。

今回訪れた「道の駅」に関するアンケート

Q１．あなたが今回訪れてこの新聞を入手した「道の駅」名をお答え下さい。
a)（　　）県　　b)（駅名　　）

Q２．今回、当「道の駅」にどなたと一緒にいらっしゃいましたか？
また、ご自分を含めて何人でいらっしゃいましたか？
①一人で　②家族と（　　人）　③友人と（　　人）
④仕事仲間と（　　人）　⑤その他（　人）

Q３．当「道の駅」までの交通手段と所要時間をお書き下さい。
交通手段：①マイカー ②公共交通機関 ③徒歩 ④その他
〔所要時間：　　分〕

Q４．今回、当「道の駅」を訪れた目的をお答え下さい。（複数可）
①観光旅行中（日帰りを含む）の立ち寄り　②仕事中の立ち寄り
③観光の目的地として　④日常の買い物　⑤当「道の駅」開催イベントへの参加　⑥地元の地域交流活動への参加　⑦その他（　　）

Q５．当「道の駅」で、気に入られた点は何ですか？（複数可）
よろしければ（　）内に具体的にお書き下さい。
①職員の対応（　　）②設備（　　）③地元の人との関わり方（　　）④販売商品（　　）⑤その他（　　）

Q６．当「道の駅」で、どのような点を改善すべきと思われますか？（複数可）　よろしければ（　）内に具体的にお書き下さい。
①職員の対応（　　）②設備（　　）③地元の人との関わり方（　　）④販売商品（　　）⑤その他（　　）

Q７．３月16日に国連防災世界会議「道の駅シンポジウム」が開催されます（本紙16面参照）。このシンポジウムにご興味はありますか。
①興味がある　②興味ない

ルートプレスは人と道のあり方を読者とともに考えようと、毎号アンケートを実施しています。ご意見は本紙で報告させていただくほか、道の駅や地域活性化のための資料として活用していただくよう、行政や「道の駅」関係の諸団体などにも提供していきます。ご回答は統計的に処理して結果のみを公表し、個人を特定できるデータを外部に開示することは一切ありません。忌憚ないご意見をお寄せください。ご回答いただいた方の中から抽選で20人に記念品を贈ります。

ご回答方法

回答用紙に記入して点線に沿って切り抜き、ハガキに貼って投函してください。ホームページ（http://www.route-press21st.jp）からも回答できます。締切は平成27年4月30日。宛先は、〒102-0075 東京都千代田区三番町7－1 朝日三番町プラザ　NPO法人人と道研究会

『道の駅に関するアンケート』回答用紙

「道の駅」についてのアンケート回答用紙
Q１：a)（　　）県　　b)（駅名　　）
Q２：①　②（　　人）③（　　人）④（　　人）⑤（　　人）
Q３：①　②　③④〔　　分〕
Q４：①　②　③　④　⑤　⑥　⑦
（　　）
Q５：①（　　）
②（　　）
③（　　）
④（　　）
⑤（　　）
Q６：①（　　）
②（　　）
③（　　）
④（　　）
⑤（　　）
Q７．①興味がある　②興味ない
フリガナ：
お 名 前：
郵便番号〒：
ご 住 所：
お電話番号：（　　）－（　　）－（　　）
性　　別：　男　　女
年　　齢：　歳
ご 職 業：
通信欄（その他ご意見等がありましたらご記入ください）

ソレーネ周南

江本伸二駅長

山陽自動車道徳山西ＩＣから１分のところにあり、利用者の便のためコンビニを併設し、地元の農水産物を取りそろえた産直コーナーも24時間営業です。漁師の直売所では瀬戸内の新鮮な魚を、農家の直売所では新鮮野菜の他、地元特産の自然薯、ごぼうなどを販売しています。

山口県周南市戸田2713
国道2号　TEL.0834-83-3303

みさわ

伊藤清行駅長

斗南藩記念観光村の一角にあり、460台の駐車場はドライバーのオアシスになっています。夏場は遊覧馬車やパターゴルフ場などで遊べ、近くの小川原湖で捕れるシジミ貝を使ったシジミラーメンやオリジナルバーガーが超人気です。青森リンゴを使ったお土産品も豊富にあります。

青森県三沢市谷地頭4-298-652
県道170号　TEL.0176-59-2711

大和

小野善隆代表取締役

一級河川嘉瀬川に隣接する風光明媚な地です。物産館では、農産物の鮮度を徹底するため厳しい出荷基準を設けて品質管理に努めています。秋冬の気候から干し柿のおいしいところとして知られ、干し柿ようかん、干し柿ソフト、凍眠柿、干し柿ドレッシングなどが人気です。

佐賀市大和町梅野805
国道263号　TEL.0952-64-2296

醍醐の里

大久保聡支配人

直売所の人気は落合羊羹、ニューピオーネ（ブドウ）、赤土ごぼう、手作りこんにゃく。レストランのお勧めは塩カツ丼、醍醐ラーメン。近くにある「醍醐桜」は昔、後醍醐天皇がたたえたという、樹齢千年、高さ18ｍ、根周り９ｍもあり、日本銘木100選になっています。

岡山県真庭市鹿田391-1
国道313号　TEL.0867-52-8040

茶の里東白川

村雲陽司駅長

東白川村は銘茶美濃白川茶の発祥地。中でも当駅では山の風味豊かな茶蔵園の高級煎茶の人気が高い。売店、レストランは安全・安心・おいしいをコンセプトに、里山の素材を生かした料理、無添加ハムを製造直売。冬期は猪、鹿等狩猟獣肉のジビエ料理がお勧めだ。

岐阜県東白川村神土526-10
国道256号　TEL.0574－78－3123

ふれあいパークみの

関武夫物産館・公園管理課長

四国霊場71番札所弥谷寺の麓にあり、本館は地下1300㎡から汲み上げた天然温泉と宿泊・研修施設付き。お土産コーナーや喫茶のある物産館のほか、電動モノライダーや惑星を回る滑り台など無料アスレチックのあるコスモランドは宇宙好きの子どもでにぎわいます。

香川県三豊市三野町大見乙74
市道弥谷線　TEL.0875-72-2601

読者の声

☆すばらしい三陸

6年ぶりに東北の旅。震災跡がどうなっているか気になっていましたが、岩手の道の駅「くじ」が平日もすごい賑わいで活気があり、ほっと安心でした。「三陸沿岸道路」の幕をフロントに付けたトラックとすれ違いました。工事の砂利などを運び、今まさに復興の最中なのだ!「たろう」の道の駅で車中泊しましたが、朝8時になると一斉に動き始め、道の駅が復興の拠点になっていることを実感しました。北山崎、三王園地、浄土ヶ浜などの絶景も堪能し、三陸海岸はやはりすばらしい!(北海道帯広市　主婦・62歳)

☆いつか九州一周

「ルートプレス」が紙面の下にずらっと道の駅を紹介しているので嬉しくなります。「伊東マリンタウン」に行って楽しかった思い出がよみがえりました。北陸や高知方面にも行きたいし、いつか九州を車で一周したいと思っています。新しく登録された駅も知りたいし、地のおいしいものを食べたいし、あれこれ勉強しているのです。いつになったら実現するのかなあ…。(東京都足立区　会社員男性・29歳)

☆道の駅に愛・感謝

私は病気で普段はなかなか外に出ることがありません。週末になると両親が温泉や道の駅につれていってくれます。道の駅で地元の人とふれあったり、元気な野菜や特産品などに心も体も楽しんだりして、以前よりも明るく元気になりました!!道の駅が今ではとっても大好きです。これからも愛と感謝をこめて(^o^)(仙台市　家事手伝い女性・32歳)

☆読みごたえあり

「道21世紀新聞」の記事、いつも楽しみに読んでいます。道路と同じでもの凄く固い内容なのが読みごたえあり、コマーシャルばかりの新聞に比べ感心しています。考えさせられる記事だから、手が伸びてしまうのでしょうね。(秋田県湯沢市　会社員男性・52歳)

☆家族がまとまる

月1回家族で道の駅めぐりに出かけるのが大好きです。スタンプBOOK持って関東、関西、東北とかなり行きました。道の駅に行くため仕事をして、家族がまとまり、ストレス解消になっています。(山梨県笛吹市　パート女性・60歳)

☆最後はまだです

42号に「最後の?自転車旅」を投稿された富山県射水市73歳の無職女性様へ。楽しそうですねエ、〝おじょうさま〟。最後なんてことないですよ!

私もこれが最後かなァと思いながら、すっかりチャリンコにはまってしまい、北海道の旅から16年たってしまいました。北海道は元気、やる気、勇気を与えてくれた旅の原点なのです。どうぞ、ご主人を愛しながら、すてきな自転車旅を続けてください。(新潟県妙高市　退職者男性・74歳)

☆慰めに野菜栽培

昔は空き家がとても珍しかった。いまは、あちこちで無人の家屋が目立ちます。田んぼも同様、放棄地が珍しくなくなっています。なんだか淋しい。わたくしは、手のかからないものばかりですが、そら豆、じゃがいも、さつまいもをここ10年ほど、自宅で毎年植え育てています。(千葉県夷隅郡　発達相談員女性・79歳)

☆「道」仲間ですね

「道」が職場なものですから、「道21世紀新聞」の名にはおおいにひかれました。じっくりよみました。観光バスは最近ワンマン化がすすんで、バスガイドはほろびゆく職業になっていますが。(滋賀県大津市　バスガイド女性・55歳)

☆家族の想い出が

お墓参りの途中で必ず立ち寄る道の駅があります。オープンのときから毎年のことですが、いつ来ても野菜やお花の新鮮なものがそろっています。レストランもあり、家族の想い出がいっぱい詰まった場所です。(鹿児島市　会社員女性・37歳)

☆閉じこもり脱出

夫を亡くして3年…。家にこもりがちな私を変えてくれたのは道の駅めぐりでした。運転、大丈夫かな? と思いましたが、高齢者講習もパスして、一人旅の楽しみも沢山味わいました。スタンプ押印しながら楽しんでます。3回忌を機に一歩前に踏み出した自分にごほう美と、時には温泉に泊まって翌日のコースを検討したりして、充実しています。(岩手県久慈市　無職女性・73歳)

☆金原さんに感動

初めてこの新聞を知りました。読みごたえが有り、隅々まで時間をかけて、ゆっくり読みました。木を植えてきた日本人、金原明善さんの記事がすごく良かったです。すばらしい人で感動しました。もっと深く知りたくなりました。とてもクオリティの高い新聞で、次号も期待しています。(岡山市　主婦・50歳)

☆管理されない森

「木を植えてきた日本人」の記事がよかったです。私の住む山奥では、雑木より杉が多く目立ちます。昔、杉やヒノキの値段が高かったころ、山の持ち主が雑木を切り植林したのですが、今は、木も売れなくなって人もいなくなり、管理さえ出来ていません。山の動物は食べ物を失い、人里に出て人間と同じ田畑のものを食べています。無計画な植林のしっぺ返しを受けているのです。(和歌山県西牟婁郡　農業女性・55歳)

☆食べる場考えて

道の駅にはたくさんおいしいものが揃っていて、立ち寄る楽しみの大部分を占めています。アツアツのものをすぐにいただくのですが、テーブル、いすなど自由に使えるスペースがほとんどないところもかなりあり、車中で食べることがしばしばあります。もっとゆっくりくつろいで味わいたいのに残念。飲食物を販売するのなら、どこで食べるかセットで考えてください。(熊本市　会社員男性・40歳)

☆見守る多くの目

先日、新潟県の道の駅「みつまた」に立ち寄りました。少し足の不自由な主人が、身体障害者用の駐車場にスムーズに駐車できました。駐車スペースは1台でしたが、屋根があって多くの方がみていてくれる駐車場でした。健常者にはちょっと止められないところでありました。このような駐車場がもっとふえてくれればとても助かると思いました。(埼玉県行田市　主婦・50歳)

☆おもてなし電飾

福島県二本松市の道の駅「安達」でPM5:00になった直後、美しいイルミネーションが点灯! 3歳の孫が大喜びしました。ファンタジーの世界に、私も感動でした。(福島県伊達市　主婦・60歳)

◆お便り募集

道の駅や道路などに関する様々なご意見、お考えをお寄せください。ハガキの宛先は、〒102-0075 東京都千代田区三番町7-1 朝日三番町プラザ NPO法人「人と道研究会」。電子メールは、dokusya@route-press21st.jp 宛て。写真、カットの投稿も歓迎。採用分には記念品をお送りします。

おもしろ万葉集

奈良　正

時時の　花は咲けども　何すれぞ
　母とふ花の　咲き出来ずけむ
(万葉集・巻二〇・四三二三番)

四季に応じて沢山の花が咲くが、どうして母という花が咲かないのだろうか。そういう花があれば、私の心は慰められるだろうにナア(別れて久しい母よ!!ああ、なつかしいおっかさん、逢いたいよ——)。

防人・山名郡・丈部真麻呂の作。遠い故郷に居る慈母への慕情を、季節毎に咲く花に縋り求める素朴な純真さは、何とも痛切だ。

×　×　×

韓衣　裾に取りつき　泣く子らを　置きてぞ来ぬや　母なしにして(四四〇一番)

防人の歌三首

私の着物の裾をしっかり捕えて、泣いている子供たちを、振り払って来てしまったナア。子たちを世話する母親が居ないのに……。

国造・小県郡・他田ノ舎人大島の作。防人として門出する父に、征(ゆ)くな!!と、号泣する子供たちに鬼の心で離別した父親の悲哀歌。

×　×　×

布多富我美　悪しけ人なり　阿多由麻比　我がする時に　防人にさす(四三八二番)

下野の国守は、心根の悪い人だ。私がひどい物忌み(急病)で、籠っているのに、防人に任命するのだ!!

那須郡・上丁・大伴部広成の作。布多=国府の所在地名。富我美=太守、長官。阿多=急な、はなはだしい。不快な。由麻比=病気、やまい。さす=任命、指名。宮殿の衛士や防人は、国守が任命した。

問答無用の召集令状を宿命として受け入れる防人が多いなか、この歌は、不平不満の意を表示する。非常に珍しい一首である。

しかし、防人歌は、大伴家持が取捨選択しているので、共感・共鳴を得ている歌と解す。

(万葉研究家)

パティオ にいがた

円田誠一駅長

平成16年水害を記憶するため建設された広大な防災公園内にある駅。災害時の避難・救援拠点となるほか、スポーツ公園、キャンプ場、レンタサイクル場、EV充電器、展望台など多彩な機能を備え、農産物直売所とレストランは地元産品による「健幸」をモットーにしている。

新潟県見附市今町1-3358
主要地方道見附中之島線　TEL.0258-94-6211

田沢

佐藤健一駅長

古民家利用の道の駅で、どこかの田舎のような懐かしい、気取らない雰囲気です。おススメは地元産玄そばを使った手打ち蕎麦、春からは米沢ならでのウコギてんぷらや山菜を盛り込んだ天ぷらそば。お土産も特産の牛肉加工品・りんご・鯉のうま煮や農産物を取り揃えています。

山形県米沢市入田沢573-19
国道121号　Tel.0238-31-2753

天城越え

山口等駅長

豊かな原生林を生かした自然休養林内の駅。中核施設「昭和の森会館」に森の情報館、伊豆近代文学博物館(川端康成・井上靖他)があり、天城グリーンガーデン(シャクナゲ・山野草)や天城ビジターセンター(ジオパーク)など施設が充実している。わさびソフトが人気。

静岡県伊豆市湯ヶ島892-6
国道414号　TEL.0558-85-1110

駅長セレクション

全国「道の駅」連絡会便り

地方創生の拠点として、また地域の暮らしを支える小さな拠点として、道の駅への注目がさらに高まっています。また、今回6つの全国モデル道の駅と35の重点道の駅が選定され、道の駅をより良くするための応援が国土交通省の施策として始まりました。1973年に103の駅から始まった道の駅は現在全国で1040駅と大きく成長しています。このことそのものが大きな成果でしょうし、販売額の総額が全国で2000億円を超え地域経済の活性化にも貢献しています。しかし、数ある成果の中で最大のものは、道の駅を運営されている人たちに、自信が生まれたことではないでしょうか。

第2ステージ

地域の農産品や特産品を販売し、地域の所得向上と雇用創出に貢献する。これがビジネスとして成立することをお母さん達が実証したことです。過信は禁物ですが、この自信と勢いで、これまで少し弱いとされていた地域へのゲートウェイや、インバウンドも含む観光の拠点としての道の駅、地域の福祉や活動の拠点としての道の駅への展開を積極的に進めていくことが大事です。今回、応募された各駅からの申請書にはこのことが充ち満ちていました。道の駅有識者懇談会の座長として、また道の駅全国連絡会の事務局を務めている日本みち研究所の理事長として、皆さんと一緒に、第2ステージを迎えた道の駅の地域貢献、地方創生への歩みを加速して行きたいと思います。よろしくお願いします。

筑波大学社会工学域教授
日本みち研究所理事長
石田東生

読者プレゼント

★12星座別「ハローキティのアロマ」を12人に。

フランス直輸入ピュアナチュラルのオイルを使用し、占星術に対応した12星座を選べるアロマ。付属の試香紙を使って香りのお守りとして持ち歩くこともできる。ご希望の星座名を付記して申し込みを。

提供:(株)me2me
mail:me2mechinosatoyama@outlook.jp

★道の駅「加子母」で人気の新商品「とまとせんべい」を10人に。

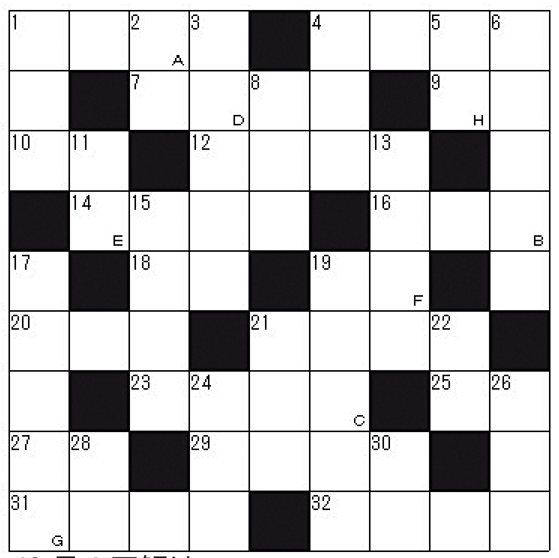
岐阜県中津川市加子母の特産、土づくりにこだわる中嶋農法ミネラルトマトを生地に練り込んだせんべい。トマト臭がなく、さっぱり酸味と程よく塩味がきいて、サクサク食べやすい。

提供:　道の駅「加子母」
http://kashimozanmai.com

応募方法

プレゼントは希望品名、クロスワードは答えをABC順に、それぞれ1枚のハガキに別々に書いてください。整理の都合上、プレゼント、パズルの応募を一緒に書くと、無効になります。いずれも下記の項目を必ず記入してください。①氏名②郵便番号・住所③電話番号④性別⑤職業⑥年齢⑦趣味⑧この新聞の入手場所⑨今号で関心を持った記事⑩感想・意見。送り先は、〒102-0075 東京都千代田区三番町7-1 朝日三番町プラザ NPO法人 人と道研究会。4月30日必着。発送を発表にかえさせていただきます。個人情報は当NPOが厳重管理し、応募作業及びNPOからのご案内以外の目的には使用しません。

クロスワード　人と道パズル



★ヨコの鍵

1　ショッピング
4　授業が終わった後の時間
7　制限あります
9　ルーム、ホルダー、ボード
10　ラバは馬とコレの仔
12　○○○○教師…指導もアツい
14　電子マネーは事前のコレが必要
16　カナダから連想する葉といえば?
18　注目の○○
19　ラーメンや厄除け大師でお馴染み、栃木の地
20　観たい番組をDVDに○○○する
21　クルクル〜
23　作品についています
25　ブレス。すって〜はいて〜
27　イク○○は、イクメンや働く子育てママの頼りです
29　Twitterで見かける「つぶやき」といえば?
31　優秀です
32　⇔優良

★タテの鍵

1　待てば○○の日和あり
2　2つで林、3つで?
3　賞を取る前に、まずは推薦…狙います
4　○○○の顔も三度まで
5　奈良でお馴染みの果物です
6　春の大型連休、○○○○○ウィーク
8　「躑躅」何と読む?
11　悪いことするとコレが当たるから気をつけて
13　あっという間だね?
15　米山牛、将棋の駒、サクランボ
17　ルだっけロだっけ…???
19　自動車の上にある窓
21　火消しのしるし
22　友を呼ぶ
24　発展の○○○をたどる
26　明日から見れば今日は?
28　人ごみではコレにあわないよう気をつけて
30　大空を羽ばたいています

42号の正解は
「チホウソウセイ」

問題作成　寺崎美保子
http://zeropage.jp

道の駅文庫

「支援紡ぐ道の駅～震災から再生へ宮城6駅の挑戦」
鈴木孝也著
三陸河北新報社

あの巨大津波をもたらした東日本大震災。その愕然とする被災下で道の駅はどんな役割を果たしたのか。宮城県北東部の六つの道の駅の活躍を追ったドキュメントだ。

第一部、石巻市にある道の駅「上品の郷」(じょうぼんのさと)の取り組みは、これからの道の駅のあり方に大きな示唆を与えてくれている。

この道の駅は国道45号線沿いの内陸部に立地し最新耐震設計の建物だったから被害は最小にとどまり、震災直後続々と車が避難してくる。

「太陽光発電による情報提供施設の照明、駐車場の外灯の明かりを頼りに車を走らせきた」人達だ。その文明の明かりは、逃げ惑う人々にとってどんなに心強く感じられたことだろう。ここには、トイレがあり、飲料水があり、食べ物がある。世話してくれる人(スタッフ)がいる。

さらに、レジが使えなくなる中、手清算作業で直売所やコンビニを明け続けた。付属する温泉保養施設は震災から13日後に再開し、震災の日以来お風呂に入れなかった被災者に喜ばれた。

真骨頂は、避難所や仮設住宅などが整備されて後に発揮されていく。避難所などで無料の食糧供給や炊き出しが行われるが、家族を失い、家を根こそぎ流された被災者たちがあふれる避難所の炊き出しに行き難い被災者もいる。家や家族は無事だったけど、という大勢の人達だ。こうした被災者にとっては、道の駅の無休の営業活動はどんなに強い味方になっただろうか。

第二部は、宮城県北の石巻、登米、気仙沼の三市にある六つの道の駅の震災対応についてレポートする。そして第三部では、道の駅どうしの復興連携について述べられている。

このドキュメントを読んで、筆者は「道の駅はここまで成長したか」という思いでいっぱいになった。道の駅という事業体は、行政が設立を企図・実践し、民間が委託や指定管理などにより経営するのが一般的。常に地域のために、社会のためにというミッションがある。いわば、ソーシャルなビジネスを展開しなければならないということだ。このリポートはそうした道の駅のあり方を示唆しているように思えた。

(花信風子)

駅長セレクション

八王子滝山

芥川麻実子駅長

私たちの道の駅は、東京都でただ「ひとつ」の道の駅。日本で「ひとつ」の都市型道の駅。観光型の道の駅とは違い、八王子市民をはじめとする近隣の方々に愛されることを目的にしている道の駅です。東京一の出荷量を誇る八王子産の新鮮野菜が、多くのお客さまのお目当て。

東京都八王子市滝山町1-592-2
都道新滝山街道　TEL.042-696-1201

シルクのまち かや

山添藤真駅長

米の食味ランキングで「特A」評価を受ける当地ブランド米「京の豆っこ米」、毎朝入荷する地元農家の新鮮野菜、丹後ちりめん産地ならではのシルク製品など、まちの魅力いっぱいの産品を揃えています。海の京都・与謝野町にお越しの際はぜひお立ち寄りください。

京都府与謝野町滝98
国道176号　TEL.0772-43-0390

三笠

小林和男駅長

日本一のアンモナイト発掘量を誇る化石のまち、北海道認定第1号の駅。ラーメン店や特産品の販売、地元野菜や軽食の店が並ぶ「食の蔵」では、牧場ソフトクリームや夏季限定の八列とうもろこしが人気です。巨大水車がシンボルの「農の館」やパークゴルフ場、天然温泉が隣接。

北海道三笠市岡山1056-1
国道12号　TEL 01267-2-5775

Route Press ルートプレス 21st.

道21世紀新聞
発行所：特定非営利活動法人 人と道研究会
東京都千代田区三番町7-1　朝日三番町プラザ
Web　http://www.route-press21st.jp

仙台で国連防災世界会議

全国「道の駅」連絡会 NPO人と道研究会 「災害と道の駅」シンポ開催

第3回国連防災世界会議が3月14～18日の5日間、仙台市で開かれる。全国「道の駅」連絡会と「ルートプレス」の発行元NPO人と道研究会は、同会議のパブリックフォーラムとして、シンポジウム「災害常襲国 日本『道の駅』の果たす役割」を開催し、災害時に道の駅が果たした防災機能を中心に、世界に誇る「道の駅」の仕組みを「日本モデル」として紹介、道の駅の持つ機能と可能性を世界に発信する。また、宮城県石巻市の道の駅「上品の郷」で、ミニ防災セミナーも開催する。

東日本大震災から4年。国連防災世界会議は東北復興を元気付け、震災から教訓を学ぼうと世界中の防災専門家が集まり議論する。大震災以来、防災に対する国民の関心は高まり南海トラフなど巨大地震の切迫も予測され、備えの重要性が増す中、東北で国連防災世界会議が開催されることは極めて意義深い。

災害時に「道の駅」が避難所や救援・復旧の拠点になったことは「たまたま」ではない。日本は各地域に「自助・共助」の伝統が根付いており、平時から「道の駅」が様々な人の交流や連携を生む素地があったからだ。

シンポジウムは3月16日午後5時から仙台市の東京エレクトロンホール宮城（宮城県民会館）で、同時通訳付きで開催。国土交通省後援、一般財団法人日本みち研究所、同国土技術研究センターが協力して実施。

役割を解き明かす

東日本大震災で避難所になり、宿泊や炊き出しに貢献し、復旧の支援基地になるなどで活躍した道の駅の体験や、災害常襲国日本に暮らし、自然と共に生きる日本人の国民性など、幅広い視点から「道の駅」の役割を解き明かす。

全国「道の駅」連絡会会長の本田敏秋岩手県遠野市長が主催者挨拶をした後、第1部の基調報告では「国土のあり方を展望する」と題して、国土学の提唱者で公益社団法人日本道路協会会長の大石久和氏と、国土強靭化政策の提唱者で内閣官房参与、京都大学大学院教授の藤井聡氏が特別対談。

第2部は「現場からの報告」として、「公共施設としての『道の駅』の役割」を深澤淳志国交省道路局長が講演。世界に道の駅を紹介してきた鹿野和子JICA客員専門員が「世界用語『Michi-no-Eki』」と題して世界の現状を解説。道の駅「上品の郷」大田実駅長は、「その時『道の駅』は」をテーマに大震災の体験や、支援の実態などを話す。

最後に、京都大学大学院都市社会工学の藤井研究室が、国土技術研究センターとルートプレス紙が実施した「道の駅の防災に関する駅長アンケート」をもとに、分析と理論的考察を紹介する。また、「大震災の記憶と防災・減災展」としてパネル展示も同時に開催する予定。

◇　◇　◇

シンポジウムに先立ち14日10時30分から、道の駅「上品の郷」（宮城県石巻市）で、「学ぼう！　災害への備え」をテーマにミニ防災セミナーも開催する。東日本大震災の津波で壊滅しながら関係者の連携で営業を再開した道の駅「大谷海岸」の米倉兵一元駅長が体験談などを語り、地元放送局の女性アナウンサーらも、「今なら話せる。そのときの私」などを披露する。

UN World Conference on Disaster Risk Reduction 2015 Sendai Japan
国連の公式ロゴマーク

第❸回 国連防災世界会議パブリック・フォーラム
Public Forum at the Third UN World Conference on Disaster Risk Reduction

災害常襲国 日本 「道の駅」の果たす役割
Role of Michi-no-Eki (Roadside Station) in Japan : A Disaster-prone Country

日時
平成27年
3月16日（月）
17:00～20:00
Date : Monday, March 16, 2015, 5:00pm-8:00pm

参加無料 Admission Free

「道の駅」とは
「道の駅」の登録制度は、ドライバーなど道路利用者や、地域住民の利便性向上を目的に1993年に始まった。地域活性化などに大きな役割を果たし、公的施設として訪れる人々の人気を集め、今や全国に1040カ所にも成長した。現在では、防災に果たす役割も注目され地域社会の大きな支えになっている。

What is Michi-no-Eki (Roadside Stations)
The program of Roadside Stations started in 1993 for the purpose of providing necessary services to drivers as well as activating local communities. They have been well accepted by communities and visitors, and presently, there are 1040 stations throughout Japan. They provided vital support to communities during natural disasters.

会場
東京エレクトロンホール宮城（宮城県民会館）6F
601 大会議室
Location : 6F, Tokyo Electron Hall Miyagi (Miyagi Kenmin Kaikan)

主催：全国「道の駅」連絡会／NPO 人と道研究会
後援：国土交通省
協力：一般財団法人日本みち研究所／一般財団法人国土技術研究センター

お問い合わせ先
〒102-0075 東京都千代田区三番町7-1　朝日三番町プラザ
TEL : 03-3221-5921　FAX : 03-3221-5922
E-mail : info@route-press21st.jp

UN World Conference on Disaster Risk Reduction 2015 Sendai Japan　Route Press ルートプレス 21st.　全国「道の駅」連絡会

全国「道の駅」連絡会と道の駅新聞ルートプレスは第3回国連防災世界会議を支援しています。

プログラム
3月16日（月）
17：15　開会
主催者の挨拶
全国「道の駅」連絡会会長　遠野市長　本田 敏秋 氏
【第1部】基調報告
17：25　特別対談～国土のあり方を展望する～
「災害常襲国、日本 『道の駅』の果たす役割」
公益社団法人日本道路協会　会長　大石 久和 氏
内閣官房参与　京都大学大学院 教授　藤井 聡 氏
―― 休　憩 ――
【第２部】講演～現場からの報告～
18：30　講演①　公共施設としての「道の駅」の役割
国土交通省道路局長　深澤　淳志　氏
講演②　世界用語「Michi-no-Eki 」
JICA 客員専門員　鹿野　和子　氏
講演③　その時「道の駅」は
道の駅「上品の郷」駅長　太田　実　氏
講演④　道の駅の防災に関する駅長アンケート分析と理論的考察
京都大学大学院都市社会工学専攻　藤井聡研究室
19：45　閉会の挨拶
19：50　閉会
■司会　義山　望（元 宮城テレビアナウンサー）
※上記プログラムは、変更になる場合があります。

国連防災世界会議のチラシとプログラム㊦

上野

持田佑店舗責任者

90%以上山林の大自然の中に、木工品も直売する銘木工芸館、「猪豚」料理や手打ちそばがオススメの食堂などがあります。猪豚は全国でも飼育数が少なく、「猪豚鍋定食」や「猪豚ソースカツ丼」が好評です。お土産の一番人気は、手作り無添加天然醸造の麦味噌「十石みそ」です。

群馬県上野村勝山 127
国道 299 号　TEL.0274-20-7021

ゆすはら

松本司支配人

複合型の施設です。敷地内にはホテル、レストラン、温泉、室内型温水プール、木橋ギャラリー、産直市、ラダーズイン、キャンプ場、草スキー場等が建っており、昔の生活様式や自然について遊びながら学べます。高知 IC・松山 IC・四万十川全てから 90 分と抜群のアクセスです。

高知県椿原町太郎川 3799-3
国道 197 号　TEL.0889-65-1100

そうま

中澤正邦駅長

新鮮な海産物、農産物の販売が特色です。特に、太平洋の松川浦で採れた青のりを使うソフトが好評です。原発事故以来漁に制限がかかっていますが、安全・健康の保証された地元もの販売に全力を挙げ努めています。常磐道の３月１日全通で、関東圏からの便が大幅向上します。

福島県相馬市日下石字金谷 77-1
国道６号　TEL.0244-37-3938

みちのえき 駅長セレクション